

# 手順編

0.エンドパネル(オプション) ▶24	8.セットタンク ▶43
1.壁掛大便器スタンド ▶25	9.ウォシュレット ▶46
2.止水栓 ▶27	10.前板(上) ▶48
3.壁側板(手洗器設置側) ▶33	11.棚板・ タンク上収納底板用アングル材 ▶49
4.排水接続管 ▶34	12.扉 ▶51
5.コアキャビネット ▶37	13.固定扉・天板 ▶53
6.大便器 ▶40	
7.タンク接続管 ▶42	

	手洗器サイズ	Mサイズ	Sサイズ
14.手洗器キャビネット・カウンター		▶55	▶67
15.手洗器		▶62	▶75
16.試運転・確認		▶80	
17.流動レバー		▶85	
18.給水フィルターの清掃		▶85	
19.天板		▶86	
20.器具類		▶89	
21.仕上げ		▶90	
引渡し前の点検		▶裏表紙	

マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



電動ドライバー使用禁止です。  
手締めしてください。



下穴を開けてください。  
(例:φ3の場合)



シールテープを巻いてください。



カットしてください。



ボードアンカーを差し込んでください。



けがきをしてください。

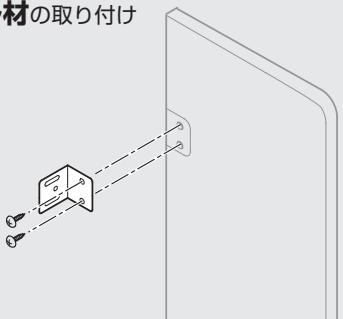


水平器で水平・垂直確認してください。

## 0.エンドパネル(オプション)

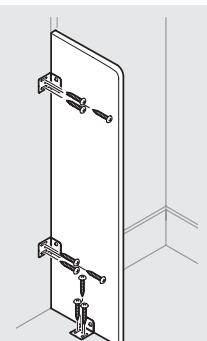
【エンドパネルがない場合】  
P.25「1.壁掛大便器スタンド」から作業してください。

### 1 アングル材の取り付け



▶P.24

### 2 エンドパネルの取り付け



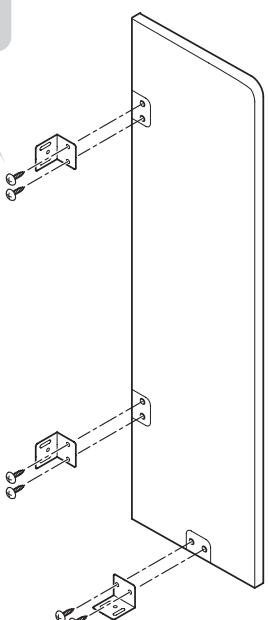
▶P.24

### 1 アングル材の取り付け

①

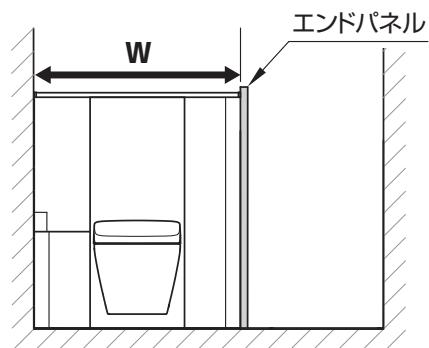
ト拉斯タッピンねじ  
4×12(6本)

手締めで



### 2 エンドパネルの取り付け

#### 間口寸法Wの測定範囲

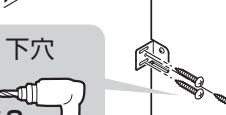


ト拉斯タッピンねじ  
4×30(9本)

②

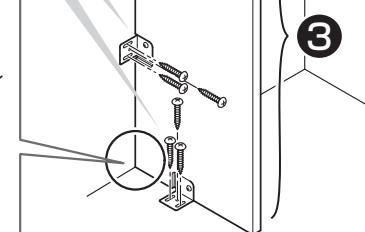
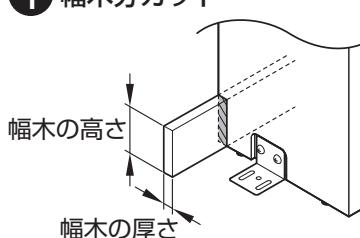
けがき → 下穴

間口寸法W  
18



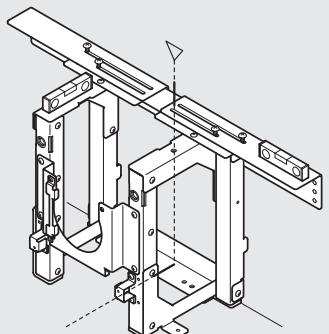
#### 【幅木がある場合】

##### 1 幅木分カット



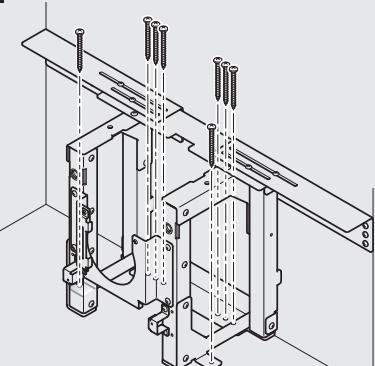
# 1.壁掛大便器スタンド

## 1 壁掛大便器スタンドの仮設置



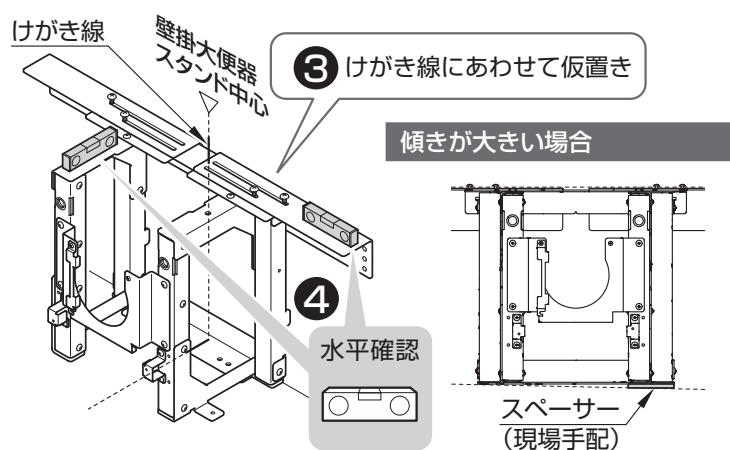
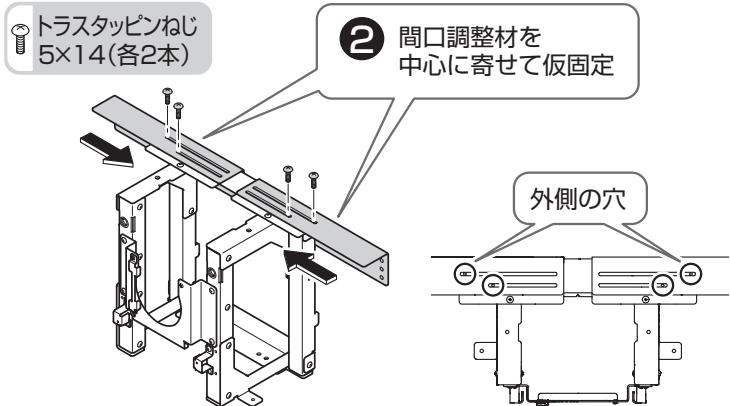
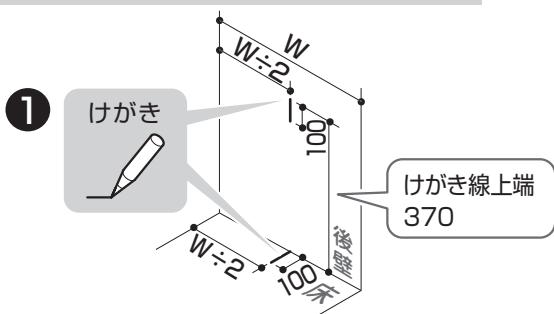
▶P.25

## 2 壁掛大便器スタンドの固定



▶P.25

## 1 壁掛大便器スタンドの仮設置

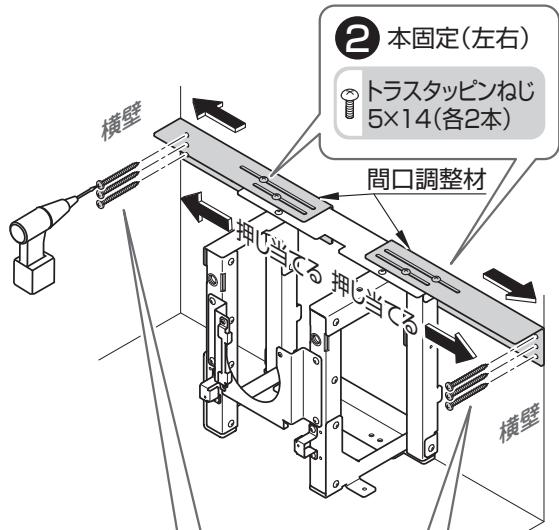


## 2 壁掛大便器スタンドの固定

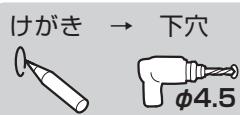
### 注意



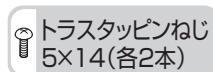
横壁と間口調整材とにすき間があかないようにする  
商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。



### 1 (左右)

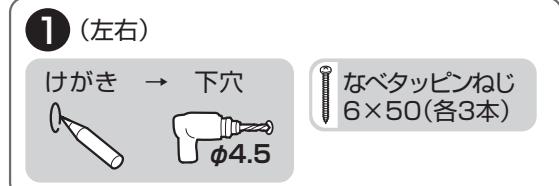


### 2 本固定(左右)



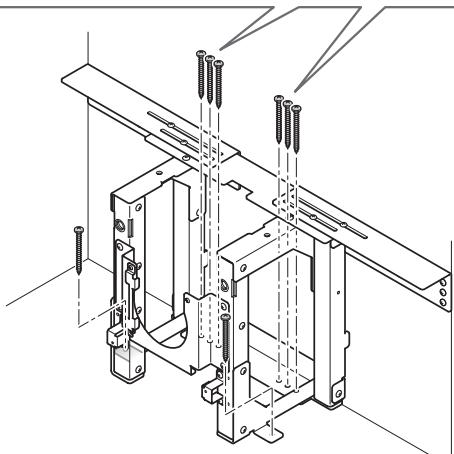
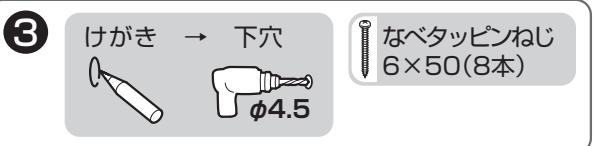
間口調整材

横壁

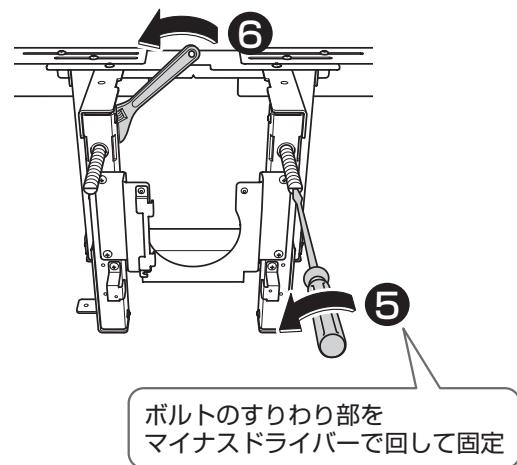
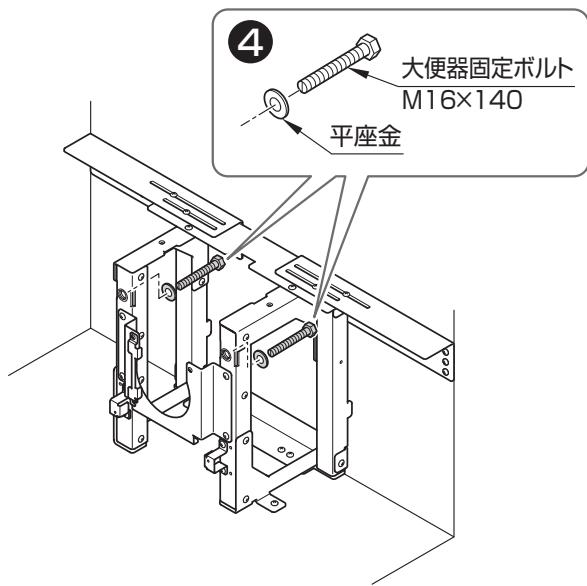


給水新設

既存給水流用



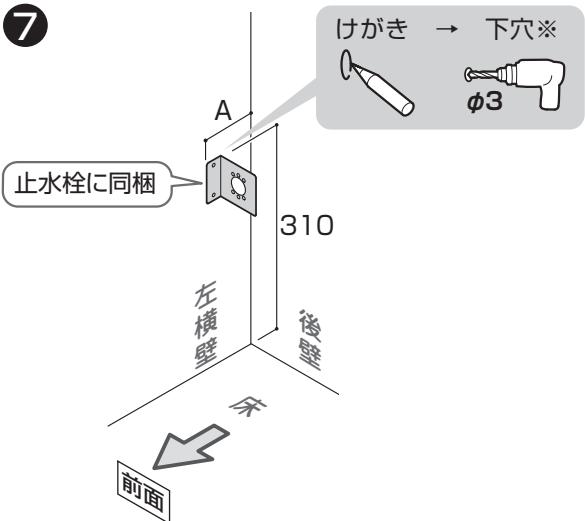
\*予備のねじが2本残ります。



**ポイント**

大便器固定ボルトの頭部分をスパナなどの工具で最後までしっかりと締め付ける。

既存給水流用の場合



\*【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー(オプション)



排水方向		A
床排水		85
壁排水	後ろ抜き	
	右抜き	
	左抜き	170

MEMO

## 2.止水栓

【給水新設】タイプと【既存給水流用】タイプで施工方法が異なります。商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

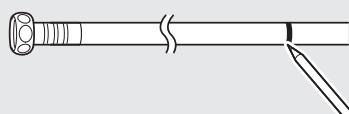
### 1 止水栓・分岐金具の取り付け



▶P.27

給水  
新設給水  
既存  
流用▶P.29 一般地／流動方式  
▶P.31 水抜方式

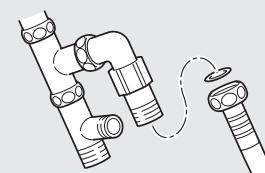
### 2 ホースクランプ 固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))



▶P.28

▶P.29 一般地／流動方式  
▶P.31 水抜方式

### 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



▶P.28

▶P.30 一般地／流動方式  
▶P.32 水抜方式

## 給水新設

### 1 止水栓・分岐金具の取り付け

#### ポイント

左右勝手とも取付位置は正面  
向かって左

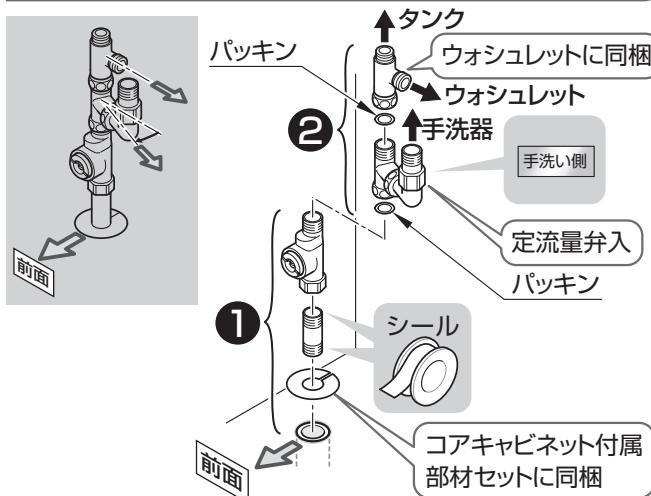
#### 注意



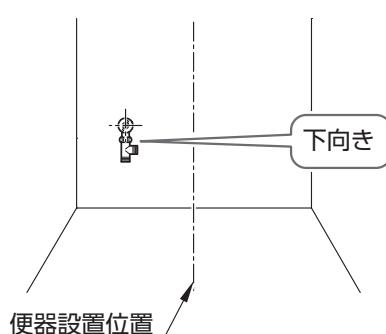
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)  
を取り付ける

設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物  
が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起  
こすおそれがあります。

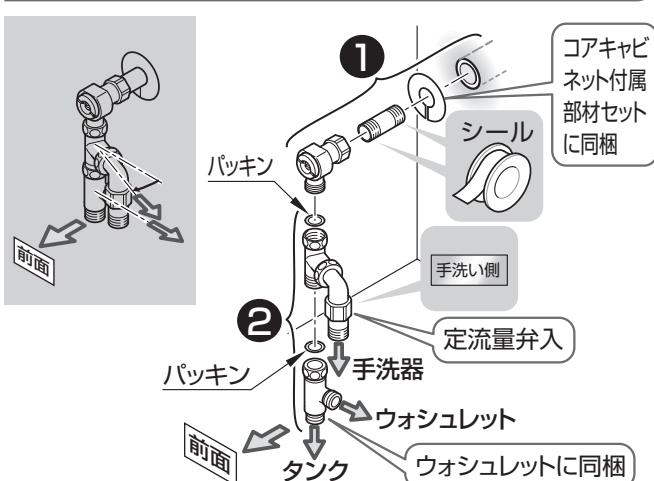
#### 床給水



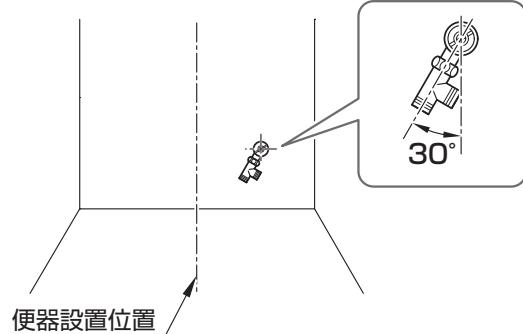
【床排水／壁排水 後ろ抜き 右抜きの場合】



#### 壁給水

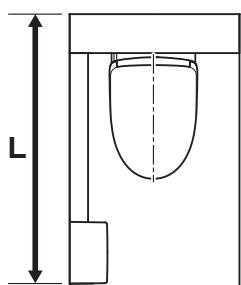


【左抜きの場合】



## 2 ホースクランプ 固定位置マーク付け (フレキホース(手洗器用))

### 奥行寸法Lの測定範囲



手洗器Mサイズ

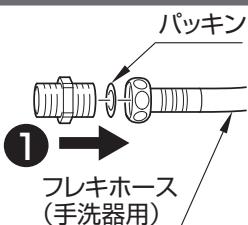
手洗器Sサイズ 自動水栓

L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)  
L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)  
L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)

手洗器側  
フレキホース  
(手洗器用)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓



L+175

手洗器側

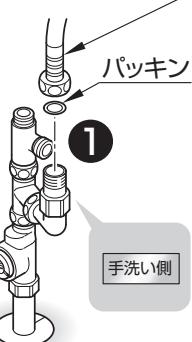
けがき

## 3 フレキホース(手洗器用) の取り付け

床給水

壁給水

フレキホース(手洗器用)



### 2 ホースクランプ(カウンターセットに同梱) で固定する

\*フレキホース(手洗器用)の  
取り回しは下欄参照



### フレキホース(手洗器用)の取り回し例

#### 警告



ホースは電源プラグ・コンセントの上  
を通したり、電源プラグ・コンセント  
に接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水が  
かかり、火災や感電の原因となります。

全タイプ共通 注意事項・マーク説明

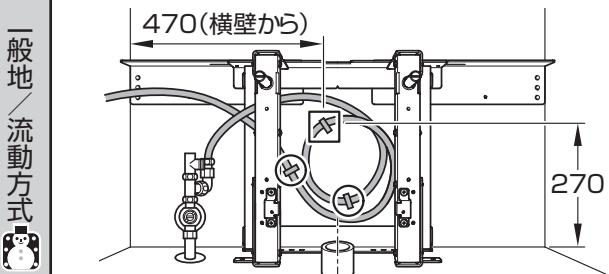
- : ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)
- : ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)

水抜方式の場合

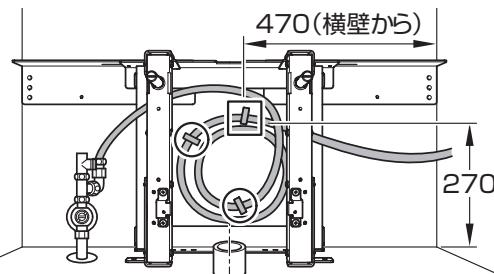
\*ホース取り回しは床から175mm  
以上確保してください。  
(水が抜けず、凍結する場合が  
あります)

#### 床給水

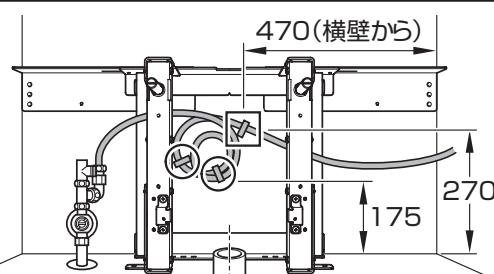
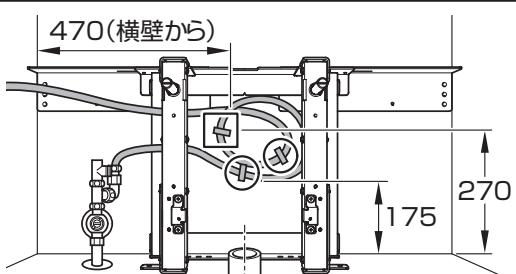
##### 左勝手



##### 右勝手

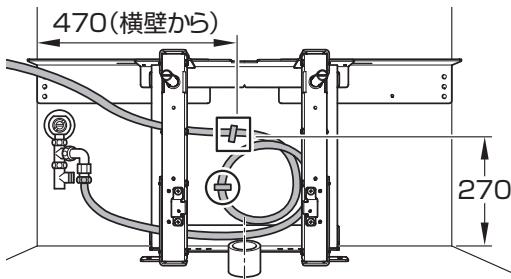


##### 水抜方式

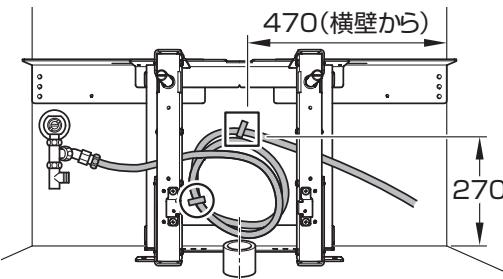


## 壁給水

## 左勝手



## 右勝手

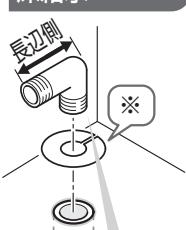


## 既存給水流用 一般地／流動方式

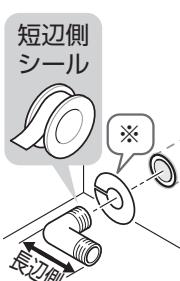
## 1 止水栓・分岐金具の取り付け

※配管用化粧カバーは「コアキャビネット付属部材セット」に入っています。

## 1 床給水



## 壁給水



## 注意



必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける  
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

なべ小ねじ  
M4×8 (2本)

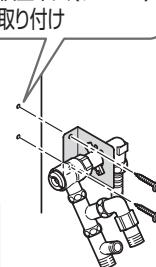
## 2



## 7

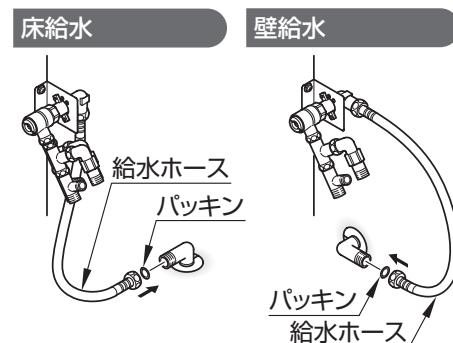
座付タッピングねじ  
4.5×38 (2本)【エンドパネルに壁側板  
を取り付けている場合】

## 必ず使用

「エンドパネル」に同梱  
トラスタッピングねじ  
4×12(2本)事前にあけた  
左横壁下穴(▶P.26)  
に取り付け

## 8

## 床給水

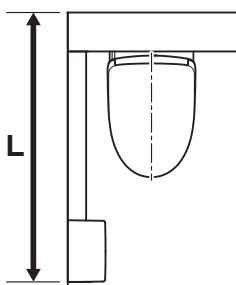


## 壁給水

給水ホースの取り回しは  
▶P.30 給水ホース 参照

## 2 ホースクランプ 固定位置マーク付け(フレキホース(手洗器用))

## 奥行寸法Lの測定範囲



## 手洗器Mサイズ

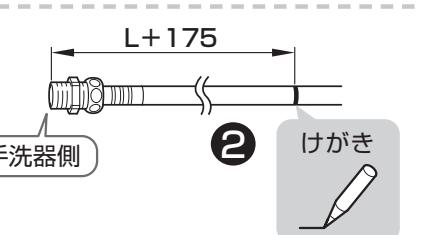
## 手洗器Sサイズ 自動水栓

L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)  
L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)  
L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)

## 手洗器側

フレキホース  
(手洗器用)

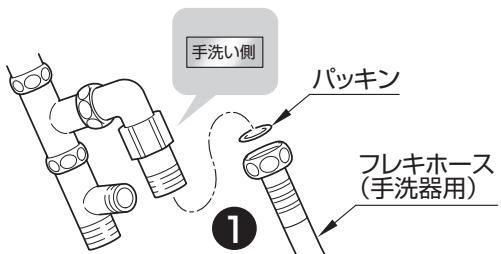
## 手洗器Sサイズ ハンドル式水栓



給水新設

既存給水流用

### 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



② ホースクランプ(カウンターセットに同梱)で固定する

フレキホース(手洗器用)の取り回しは

▶P.31 フレキホース(手洗器用) 参照



### 給水ホースの取り回し

	給水位置が壁掛大便器 スタンドの左の場合	給水位置が壁掛大便器 スタンドの内部の場合	給水位置が壁掛大便器スタンドの 右の場合
壁給水			
床給水			

フレキホース(手洗器用)

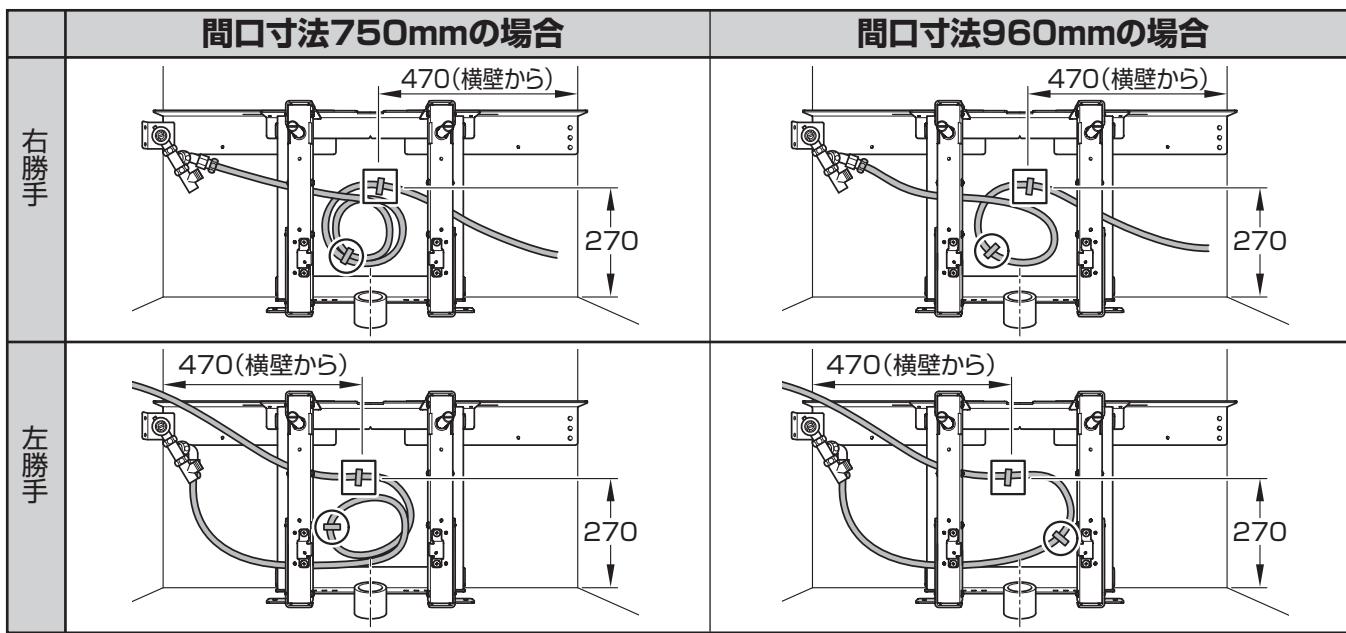
**警告**



ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)

ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)



**既存給水流用 水抜方式**

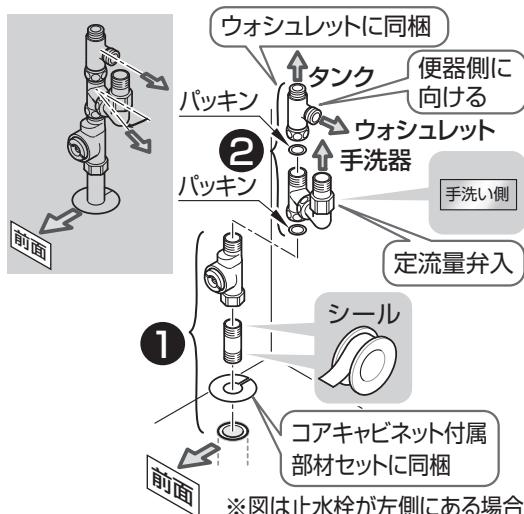
**1 止水栓・分岐金具  
の取り付け**

**2 ホースクランプ 固定位置マーク付け  
(フレキホース(手洗器用))**

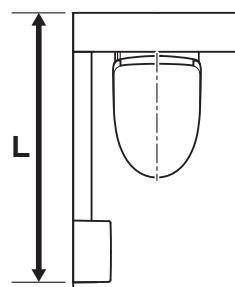
**注意**



止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓  
(フィルター付き)を取り付ける  
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。



**奥行寸法Lの測定範囲**



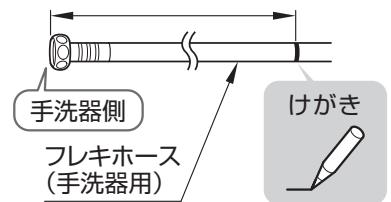
手洗器Mサイズ

手洗器Sサイズ 自動水栓

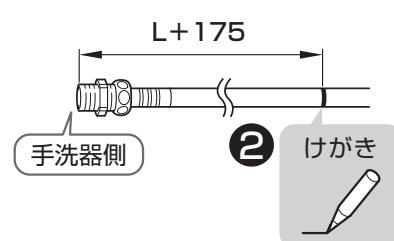
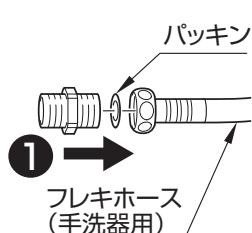
L+495(手洗器Mサイズ ハンドル式水栓)

L+155(手洗器Mサイズ 自動水栓)

L+155(手洗器Sサイズ 自動水栓)



手洗器Sサイズ ハンドル式水栓

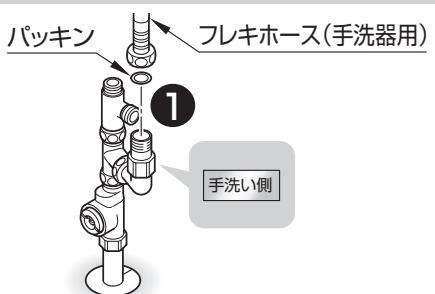


給水新設

既存給水流用

2

### 3 フレキホース(手洗器用)の取り付け



② ホースクランプ(カウンターセットに同梱)で固定する  
フレキホース(手洗器用)取り回しは下欄参照



#### フレキホース(手洗器用)の取り回し例

: ホース固定位置  
(マーク箇所を固定)  : ホース固定位置  
(任意の箇所を固定)

※ホース取り回しは床から175mm以上確保してください。  
(水が抜けず、凍結する場合があります)

#### 警告



ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、  
電源プラグ・コンセントに接触させたりしない  
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や  
感電の原因となります。

間口寸法750mmの場合		間口寸法960mmの場合	
右勝手水抜方式	給水が左側	右勝手水抜方式	給水が左側
給水が右側		給水が右側	
左勝手水抜方式	給水が左側	左勝手水抜方式	給水が右側
給水が右側		給水が右側	

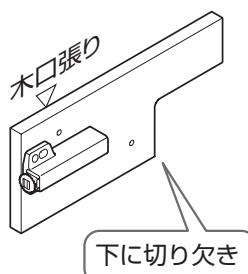
### 3.壁側板(手洗器設置側)

3

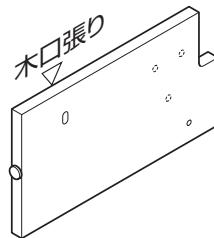
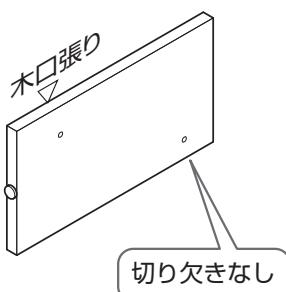
壁側板  
(手洗器設置側)

#### 壁側板の種類

A



B



※まるごと収納タイプの場合に使用

上に切り欠き

▶P.38「5.コアキャビネット」

③ 壁側板の取り付けで使用

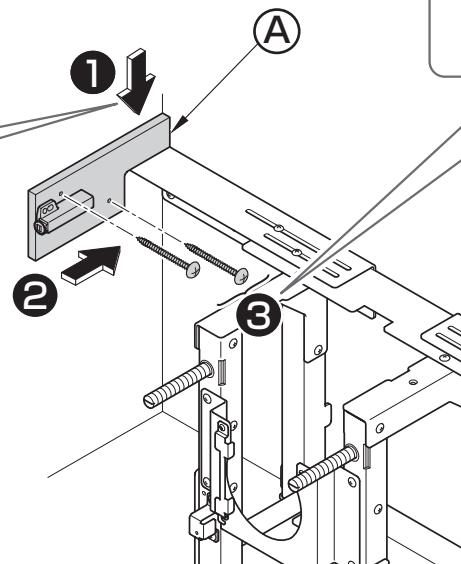
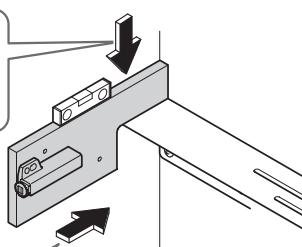
### 1 壁側板(手洗器設置側)の設置

- 1 壁掛大便器  
スタンドに  
突き当てる

水平確認



- 2 壁に  
突き当てる



③

けがき → 下穴※

トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

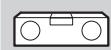
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

#### まるごと収納タイプの場合

- 5 壁に  
突き当てる

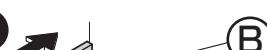
水平確認



4



5



6

けがき → 下穴※

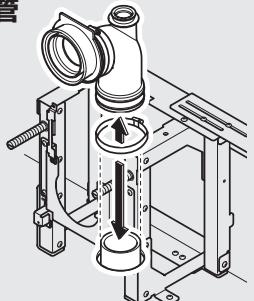
トラスタッピンねじ  
4×40(2本)

※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)

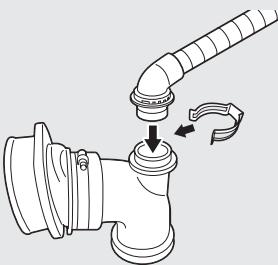
## 4. 排水接続管

### 1 排水接続管の取り付け



▶P.34

### 2 手洗器用排水ホースの取り付け



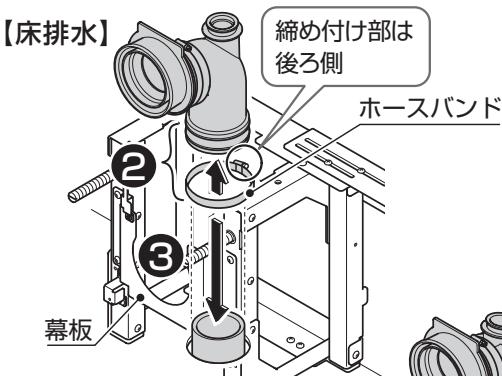
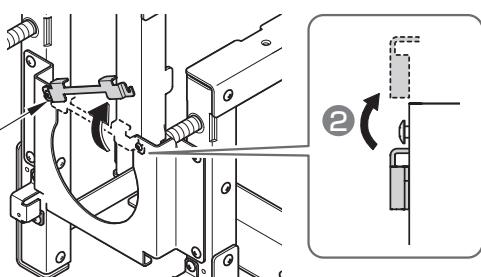
▶P.36

### 1 排水接続管の取り付け

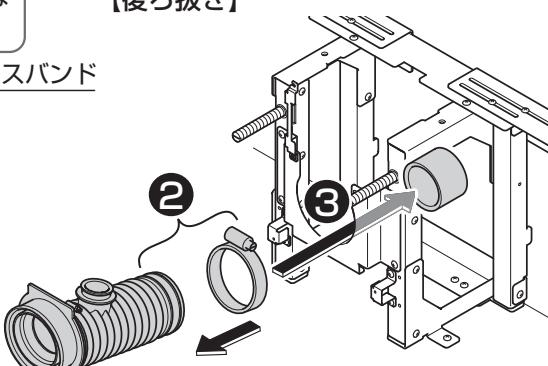
- ① ソケット押え板を上げておく ソケット押え板

① テープ留めを外す

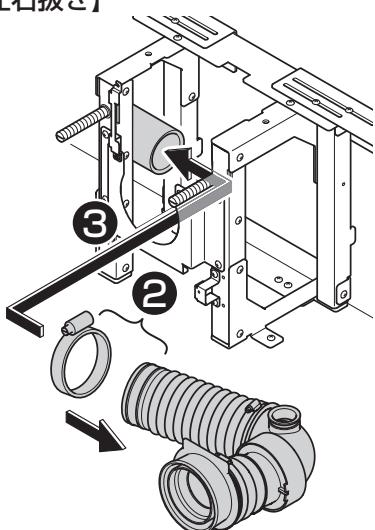
② リベットを乗り越えて、上げておく



#### 【後ろ抜き】



#### 【左右抜き】

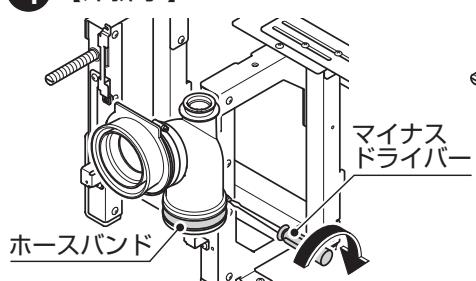


### 注意

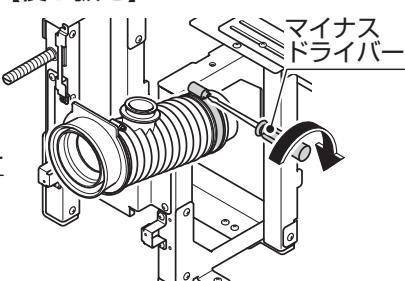


必ず守る  
手洗排水合流部が真上になるように、排水接続管を接続する  
排水接続管が水平にならず、逆勾配になることがあります。

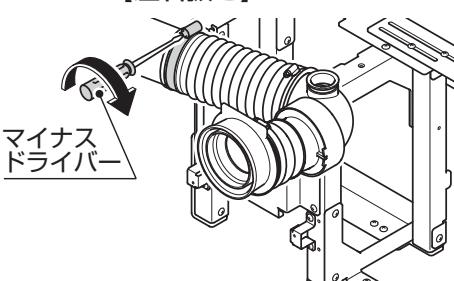
### 4 【床排水】



### 【後ろ抜き】



### 【左右抜き】

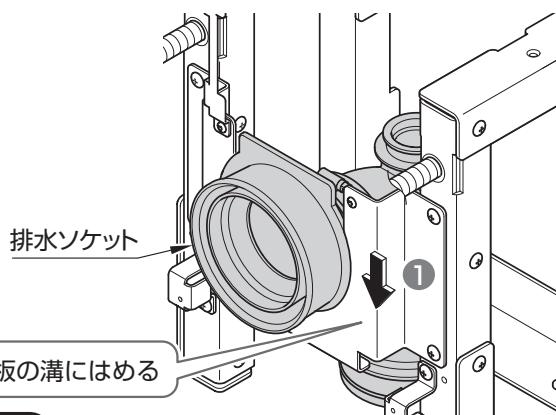


### 注意

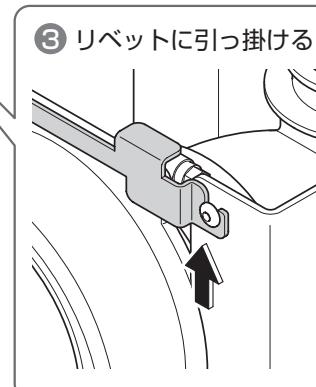
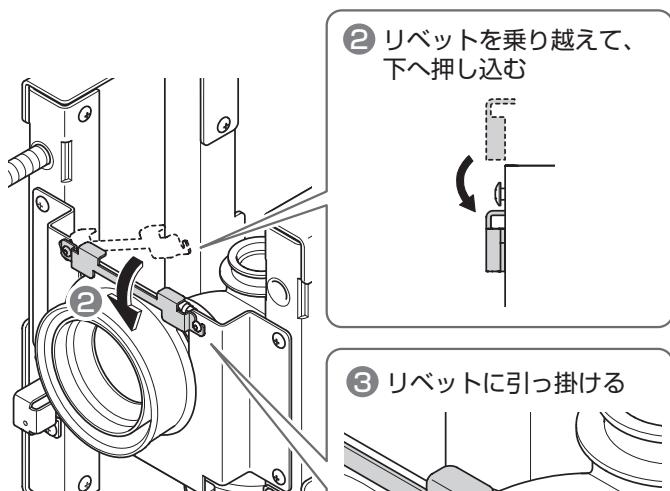
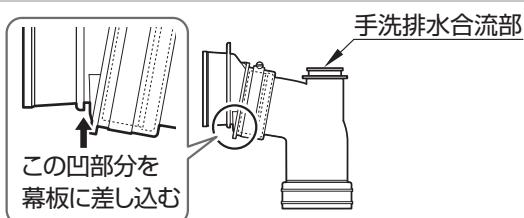


必ず守る  
ホースバンドは、電動ドライバーで締め付けない  
排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

## ⑤ 排水ソケットの固定



### ポイント

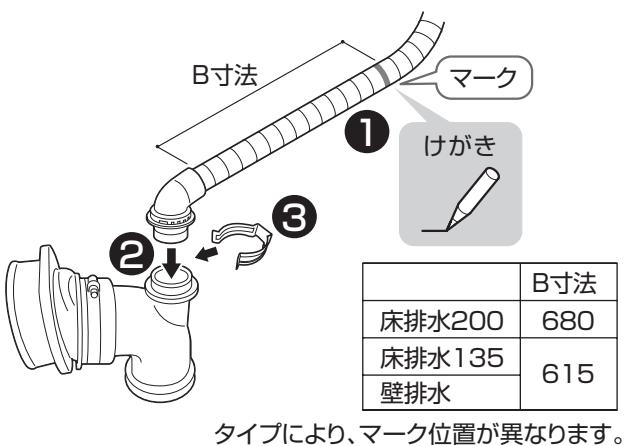


# MEMO

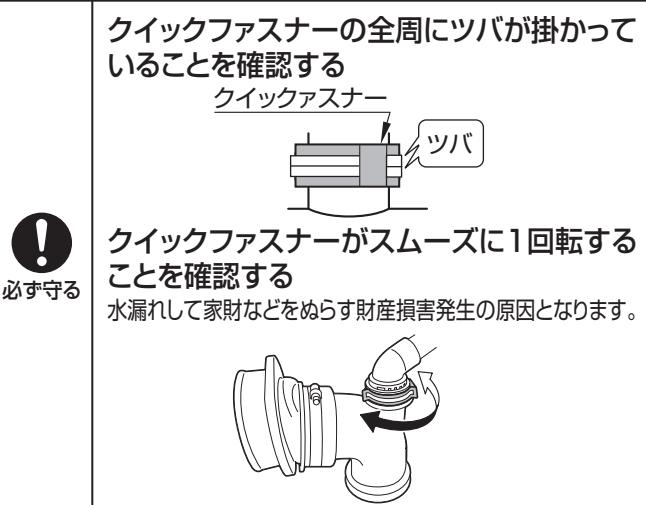
## 2 手洗器用排水ホースの取り付け

4

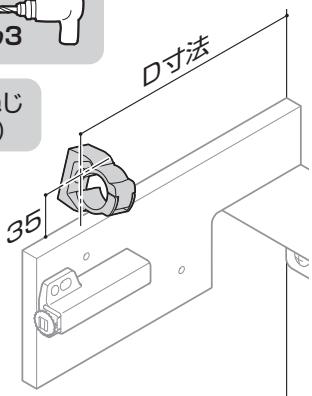
排水接続管



### 注意



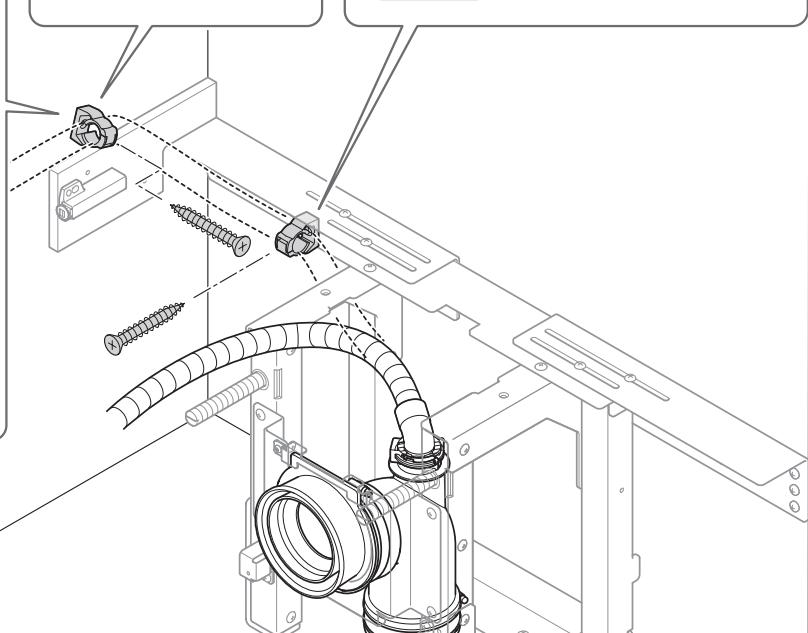
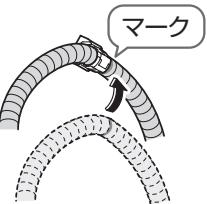
#### 4 配管固定材を横壁に取り付け



	D寸法
床排水200	245
床排水135	180
壁排水	

※【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)  
 $\phi 10$

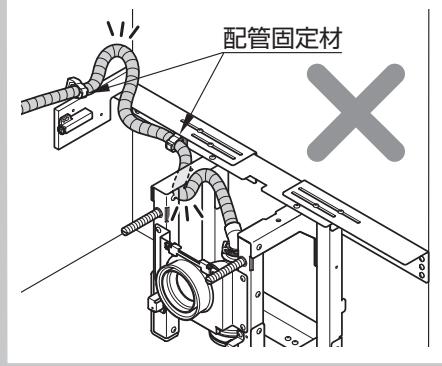
#### 5 ホースを配管固定材に固定



#### 逆勾配注意

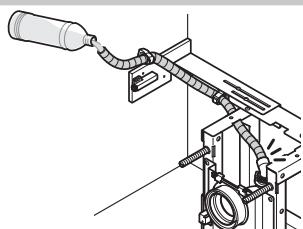
##### 手洗器用排水ホースがたるまないように固定する

手洗器から異音発生のおそれがあります。



#### 水漏れ確認

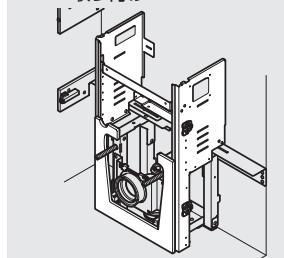
##### 接続後、すぐに水漏れ確認する



※図は手洗器が左勝手の場合です。  
右勝手の場合は、左右反転となります。

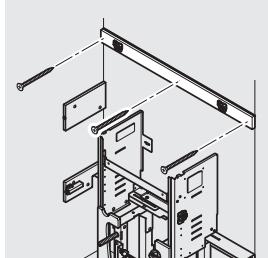
## 5.コアキャビネット

### 1 コアキャビネットの取り付け



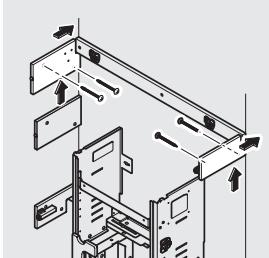
▶P.37

### 2 後横さんの取り付け



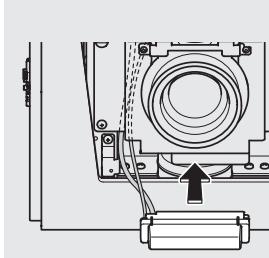
▶P.38

### 3 壁側板の取り付け



▶P.38

### 4 照明部材の取り付け

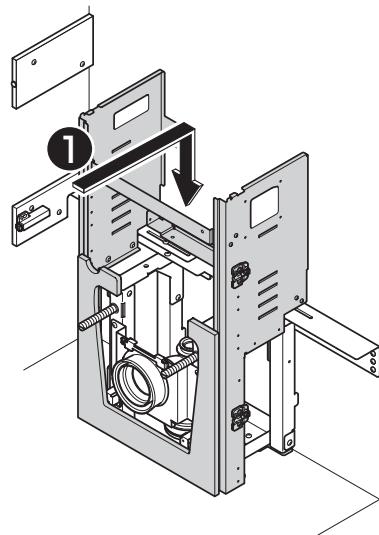


▶P.39

5

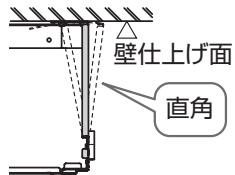
コアキャビネット

### 1 コアキャビネットの取り付け



#### 注意

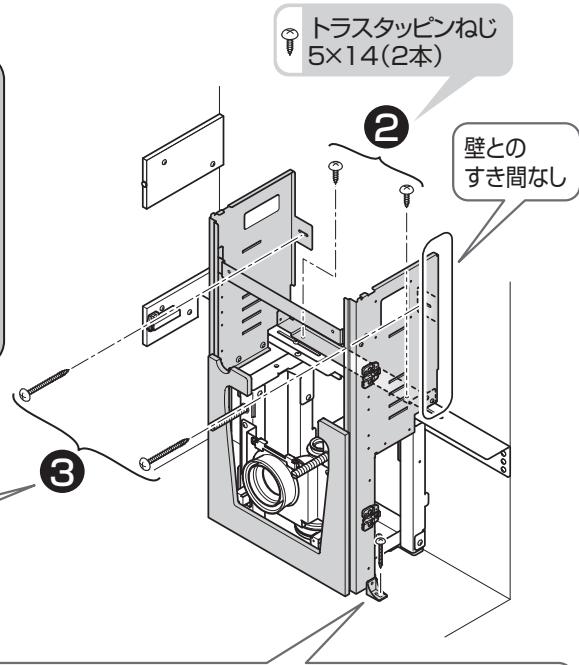
##### ねじ固定時に側板が曲がらないようにすること



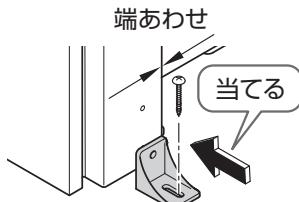
##### けがき → 下穴



##### トラスタッピンねじ 4×40(2本)



##### 4 アングル材を側板に当て、床に固定 (側板への固定は不要)(カウンター反対側に1カ所)



#### 注意

##### 側板へ固定しない

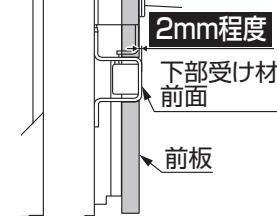
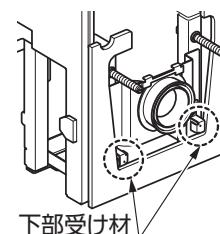
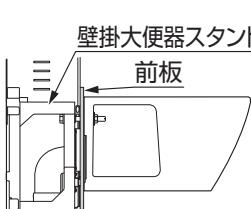


### ポイント

#### 下部受け材前面が前板より 2mm程度、前に出ていることを 確認する

下部受け材が壁仕上げ面より引っ込んでいると、前面に荷重がかかり破損するおそれがあります。

#### 【設置完了状態】



## 2 後横さんの取り付け

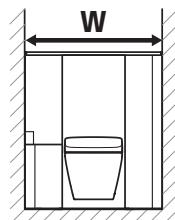
### ① 後横さんカット・穴あけ

#### ポイント

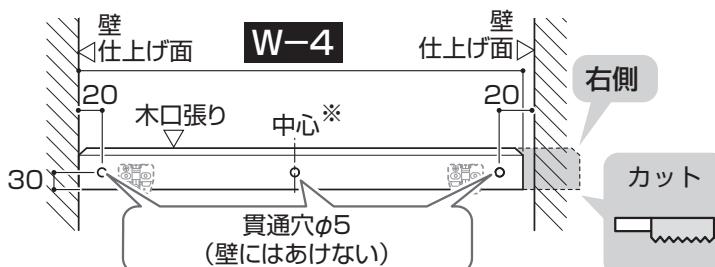
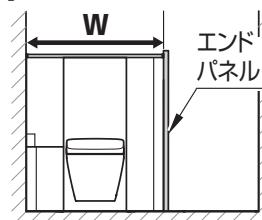
チッピングに注意!



#### 間口寸法Wの測定範囲



【エンドパネルありの場合】

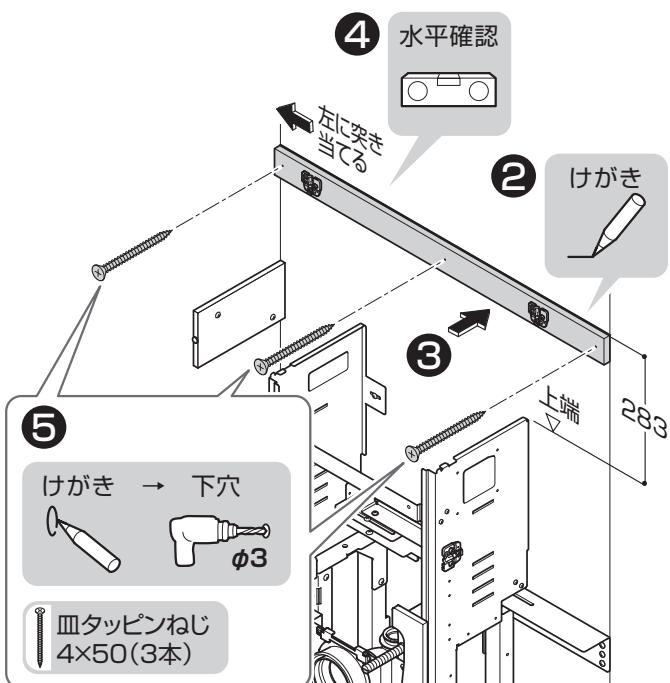


※壁裏補強なしの場合は間柱中心

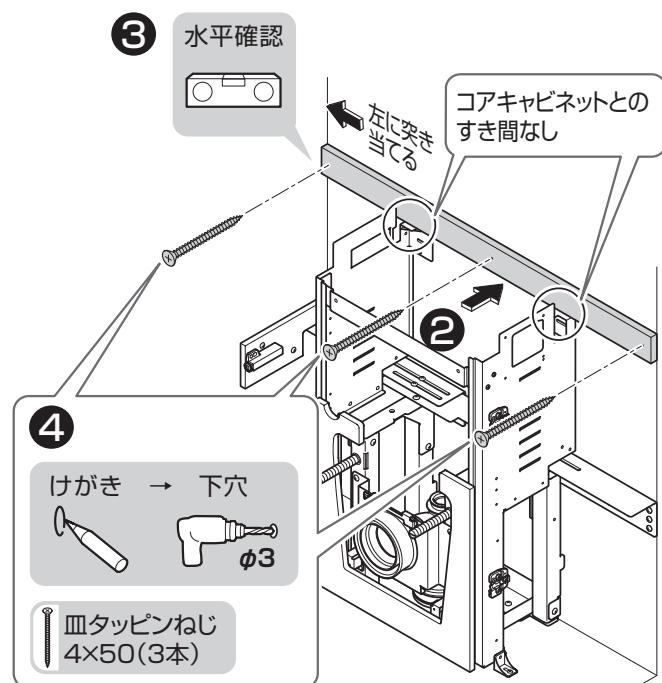
5

コアキャビネット

#### まるごと収納タイプの場合



#### すっきり収納タイプの場合



## 3 壁側板の取り付け

② 壁に突き当てる

水平確認

① 後横さんに突き当てる

②

③

けがき → 下穴



皿タッピンねじ  
4×50(3本)

④ トラスタッピンねじ  
4×40(4本)

\*【壁裏補強なしの場合】  
下穴 → ボードアンカー  
(オプション)



#### エンドパネルの場合

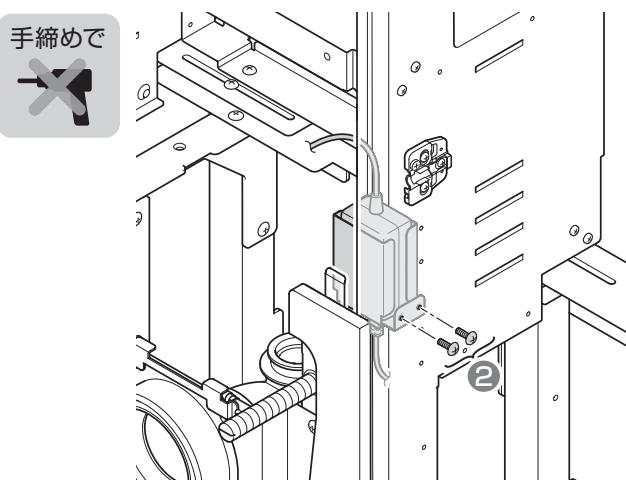
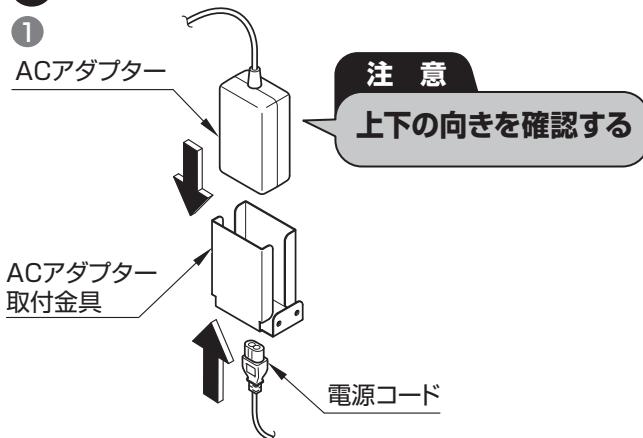
##### 必ず使用

「エンドパネル」に同梱  
ト拉斯小ねじ  
M4×18(2本)

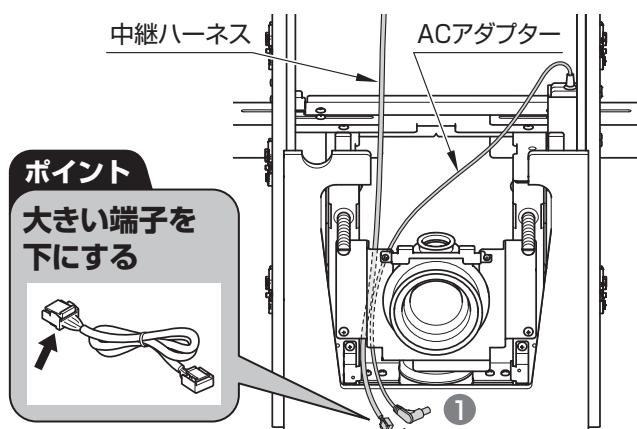
\*図はまるごと収納の場合を示す

## 4 照明部材の取り付け

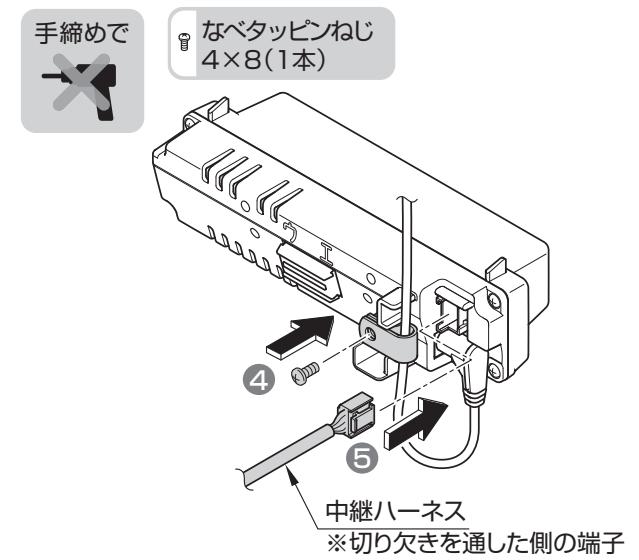
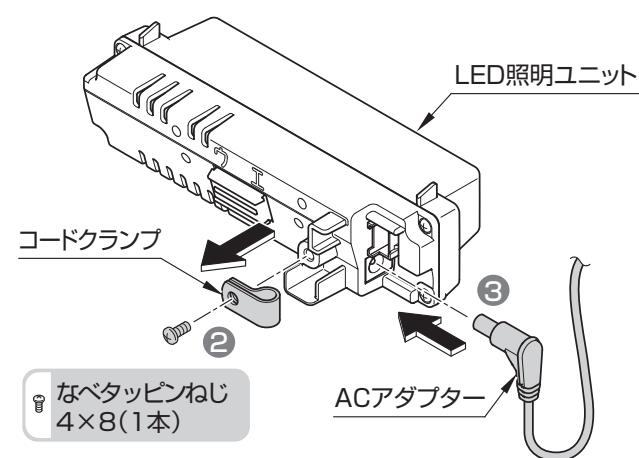
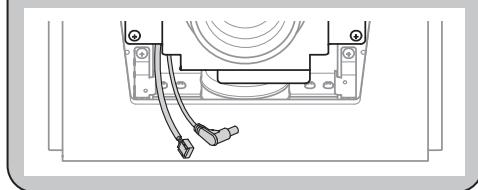
### ① ACアダプターの取り付け



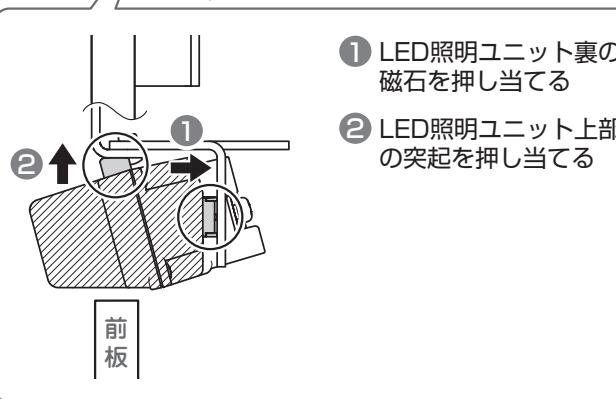
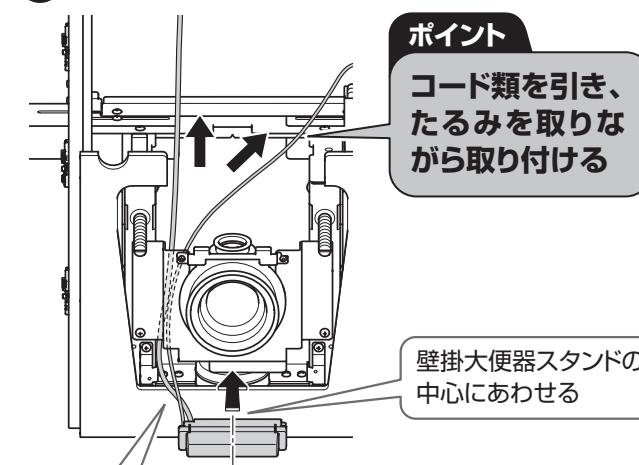
### ② LED照明ユニットの組み立て



ポイント  
左下の切り欠きを通す

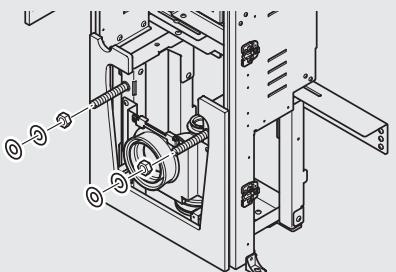


### ③ LED照明ユニットの取り付け



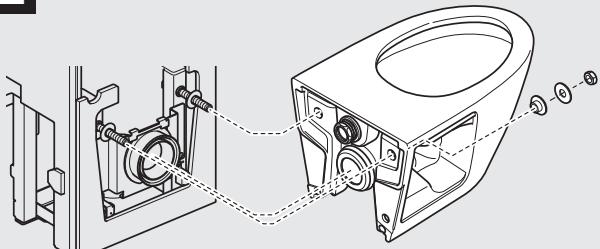
# 6.大便器

## 1 取り付けの準備



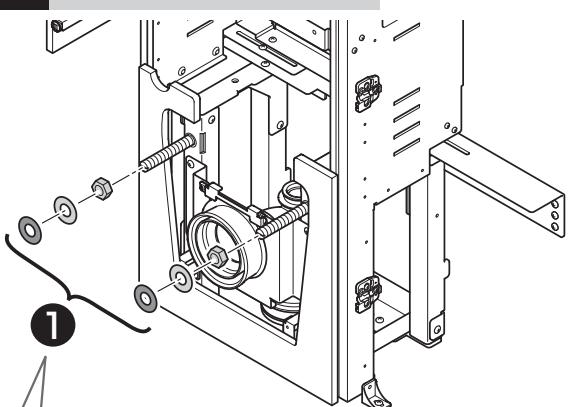
▶P.40

## 2 大便器の取り付け

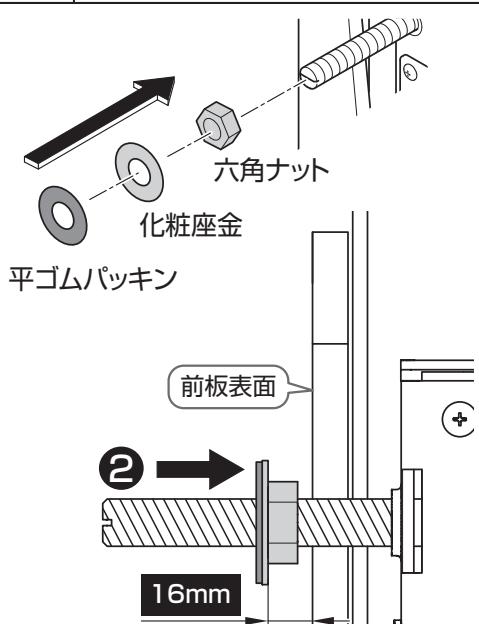


▶P.41

## 1 取り付けの準備



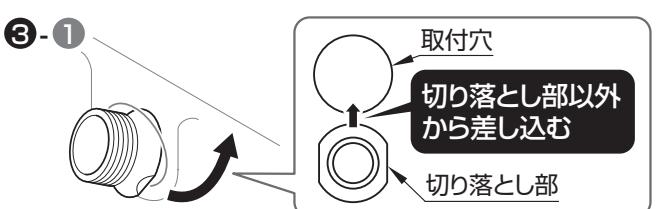
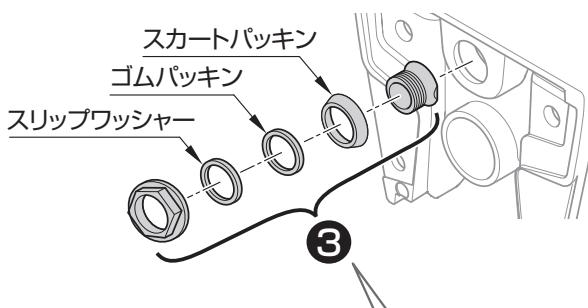
**注意**  
必ず守る  
化粧座金が前板表面より16mmの位置になるように調整する  
前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。



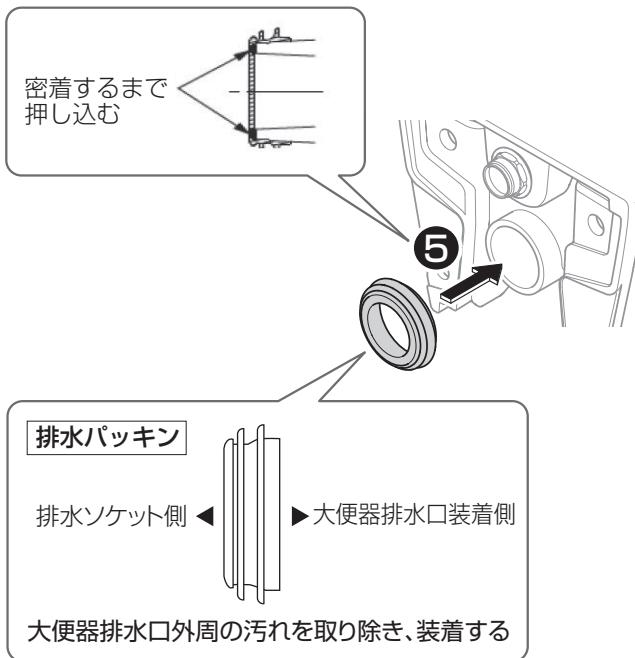
## 注意



大便器の底にはってある断熱材は、はがさない  
はがしたり傷つけたりすると結露した水によって家財  
などをぬらす財産損害発生の原因となります。



#### ④ 排水パッキンに水または水石けんを付ける



#### !**注意**



グリスは使用しない

劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



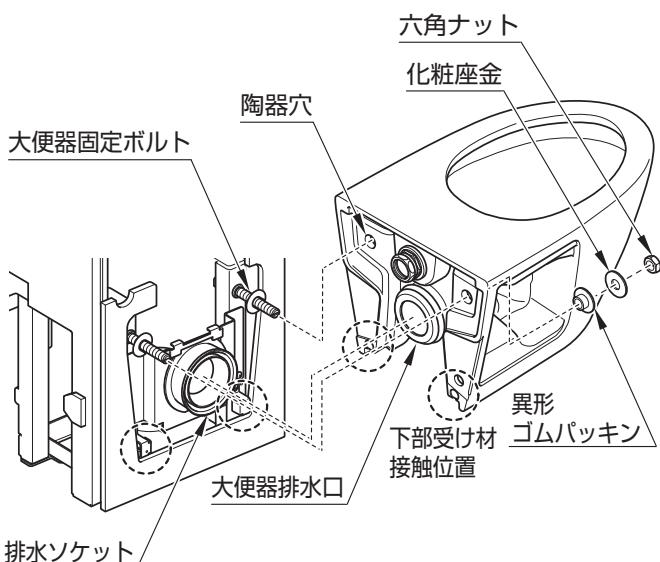
・排水パッキンに必ず水または水石けんを付けてから差し込む

排水パッキンがよれたり切れたりし、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

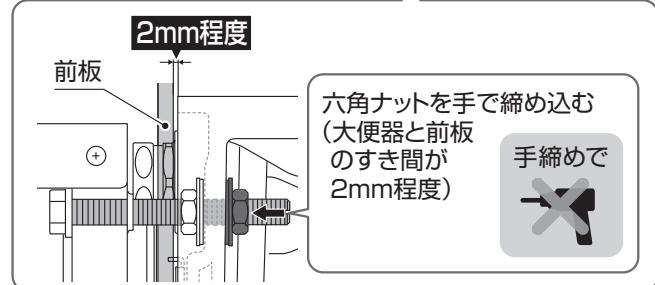
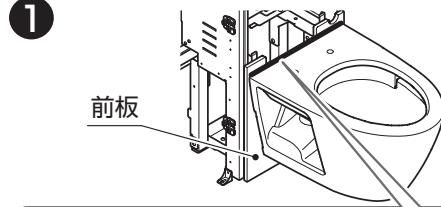
・排水パッキンは大便器排水口に密着するまで押し込む

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

## 2 大便器の取り付け



#### 1



#### !**注意**



- ・大便器を工具で締め付ける前に、大便器上面のすき間が2mm程度であること、大便器の裏面に平ゴムパッキンが接触していることを確認する
- ・すき間が2mm程度でない場合は、化粧座金から前板表面までの寸法16mmを微調整する工具で締め付けた際、前板に荷重がかかり破損するおそれがあります。

#### 注意

#### コード類を挟み込まないこと

#### 2 排水接続管が逆勾配にならないように確認・調整

#### 3 上部の六角ナットを交互に工具で締め付け 本固定

#### !**注意**

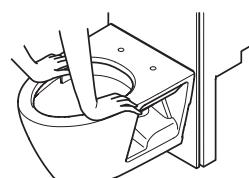


- パッキンの擦れる音がするまで六角ナットを締め込まない
- 破損するおそれがあります。

#### 4 ぐらつきおよび異音有無の確認

便器先端に両手で荷重をかけ

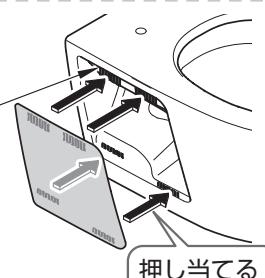
- 便器がぐらつかないこと
- 異音発生のないこと
- 前板と大便器のすき間は2mm程度のこと
- 便器下部受材に大便器が接触していること



#### 5 サイドカバー取り付け

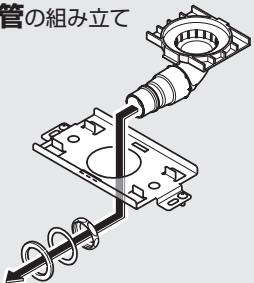
サイドカバー  
取付境界線

※面ファスナー部(4力所)  
をしっかりと押さえて、  
サイドカバーが外れない  
ことを確認してください。



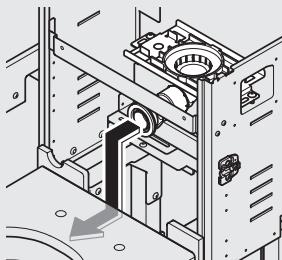
## 7. タンク接続管

### 1 タンク接続管の組み立て



▶P.42

### 2 タンク接続管の取り付け



▶P.42

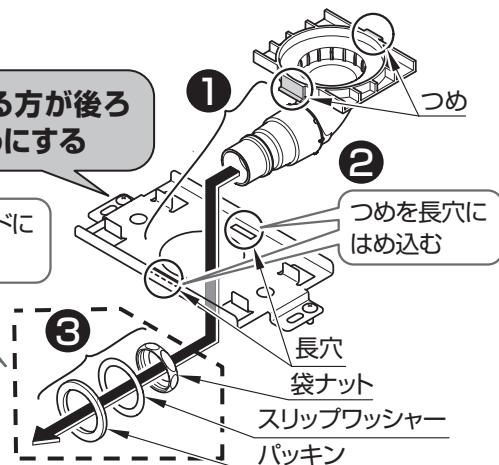
## 7

### 1 タンク接続管の組み立て

#### ポイント

ねじがある方が後ろ  
になるようにする

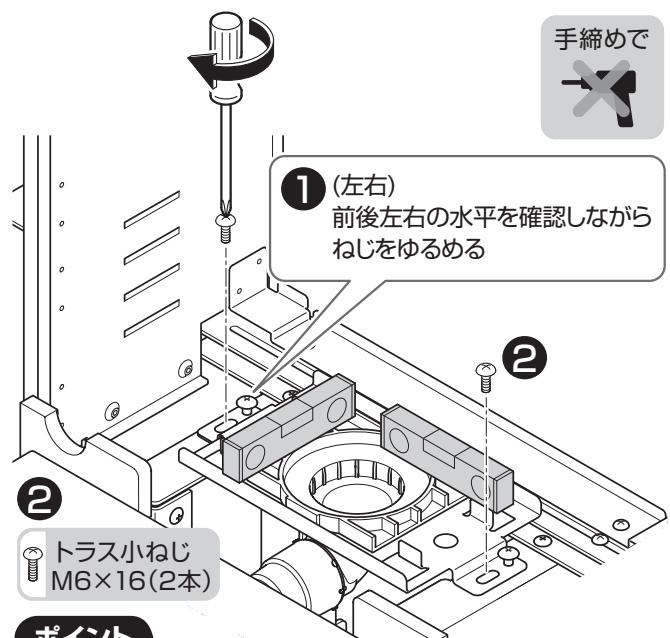
大便器スパッドに  
同梱



#### 注意



袋ナット・スリップワッシャー・パッキンの  
取付順番を間違えないようにする  
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因  
となります。

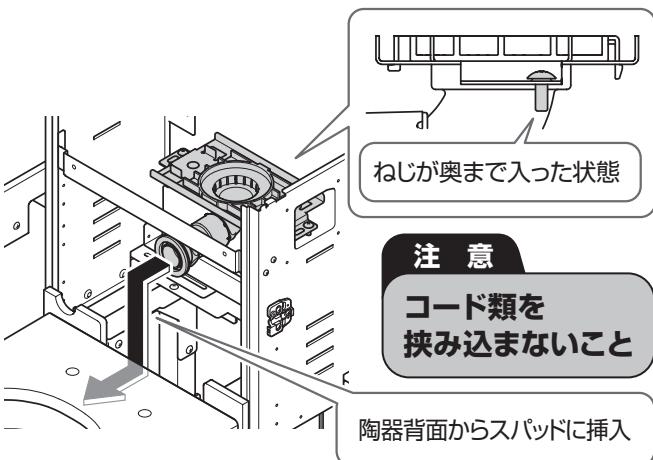


#### ポイント

#### 下記内容を確認してください。

- ・タンク接続管がスパッドの奥に当たっていること
  - ・タンク接続管が前後左右水平であること
  - ・ねじにゆるみ、がたつきがないこと
- ※タンク接続管が水平でない場合、あとでタンクを設置した際、タンクが傾きキャビネットや照明部材と干渉します。

### 2 タンク接続管の取り付け



陶器背面から視点

モーターレンチ

③ 締め付ける

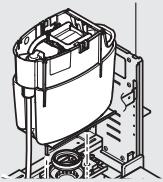
#### 注意



袋ナットは工具で確実に締める  
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因  
となります。

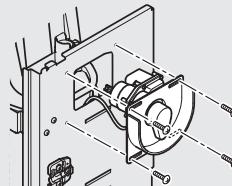
# 8. セットタンク

## 1 セットタンクの取り付け



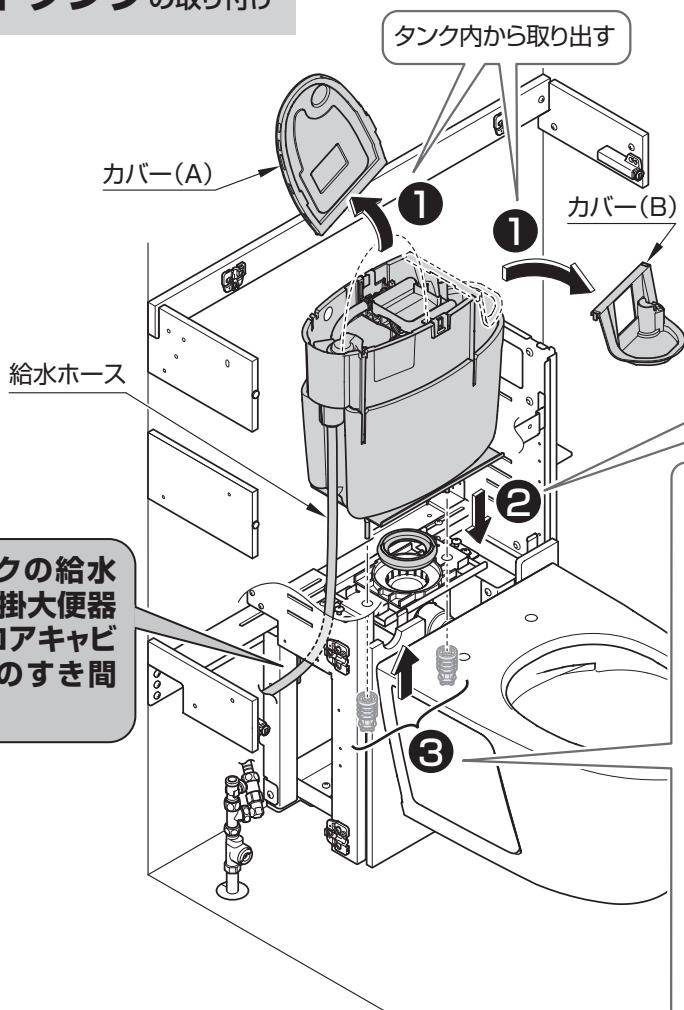
▶P.43

## 2 洗浄レバーの取り付け



▶P.45

## 1 セットタンクの取り付け



### 2 タンク接続管に載せる

#### 注意



必ず守る  
タンクにパッキンがセットされていることを確認する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

#### 注意

コード類を挟み込まないこと

### 固定ナットの取り付けかた

#### 注意



必ず守る  
左右の固定ナットを確実に締める  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う  
工具を使用すると破損するおそれがあります。

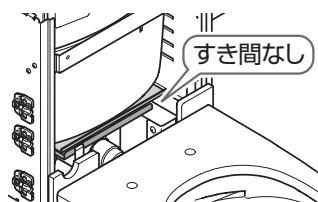


固定ナットを手締めで  
かたく締め付ける。

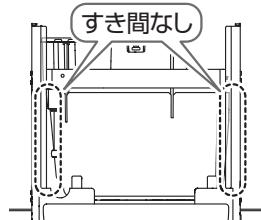
## 4 すき間確認

\*タンクがキャビネット側板に干渉している場合は、タンクを外して、タンク接続管が傾いていないか、確認してください。

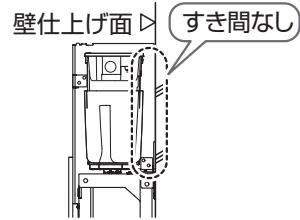
□タンク接続管とタンク下部の  
板金(黒)との間

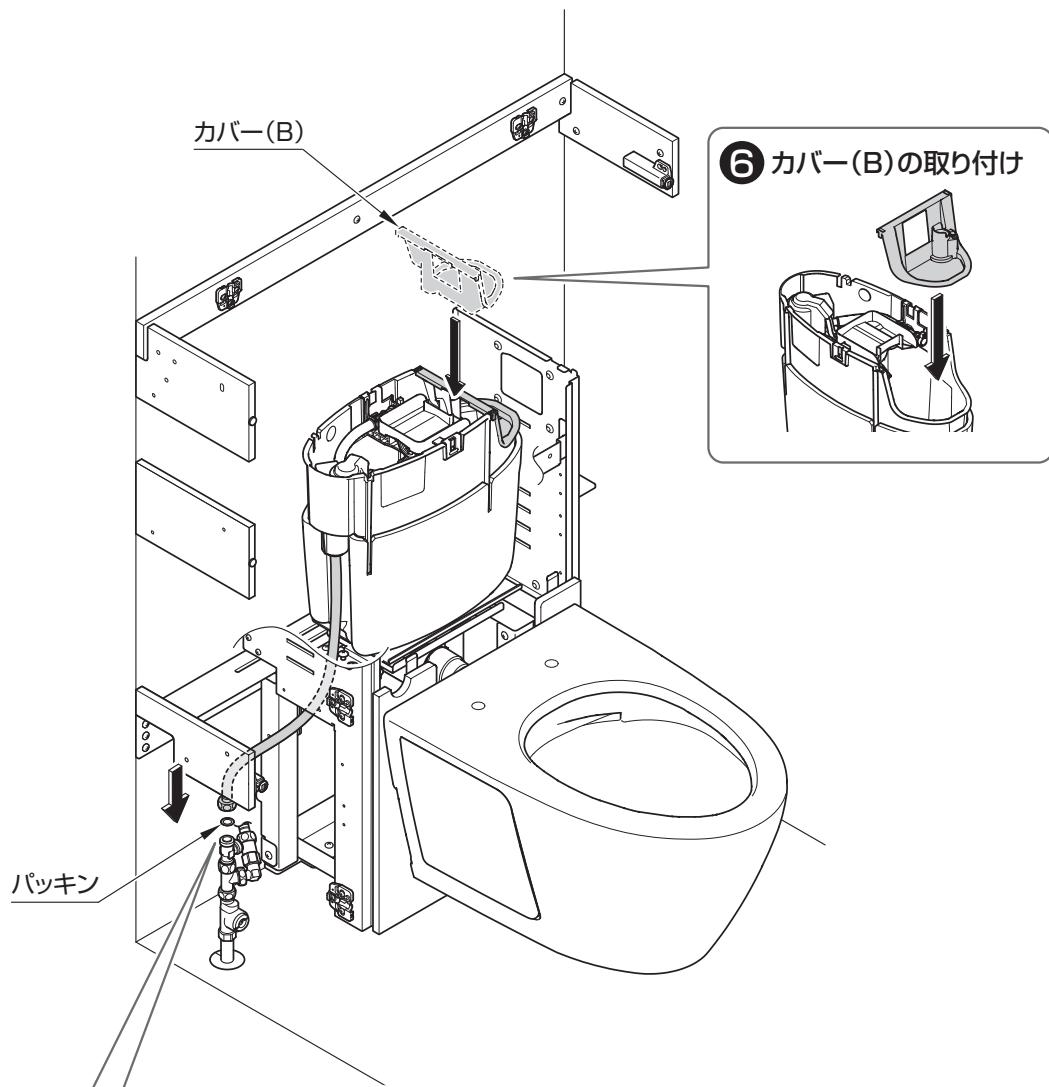


□タンクとコアキャビネット側板の間



□タンクと後壁の間

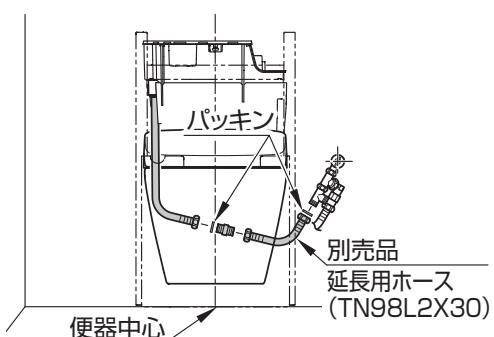




**⑤ 止水栓に給水ホースを取り付ける**

**壁給水**

壁排水 左抜きの場合



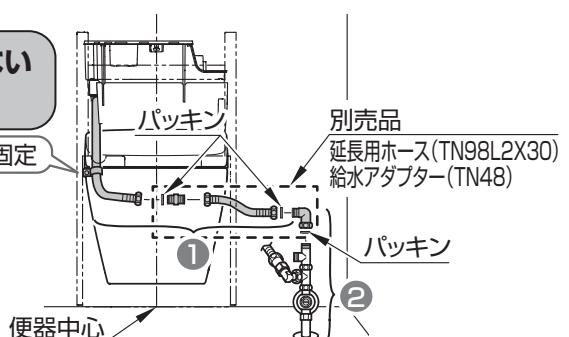
**水抜方式**

止水栓が右側にある場合

**逆勾配注意**

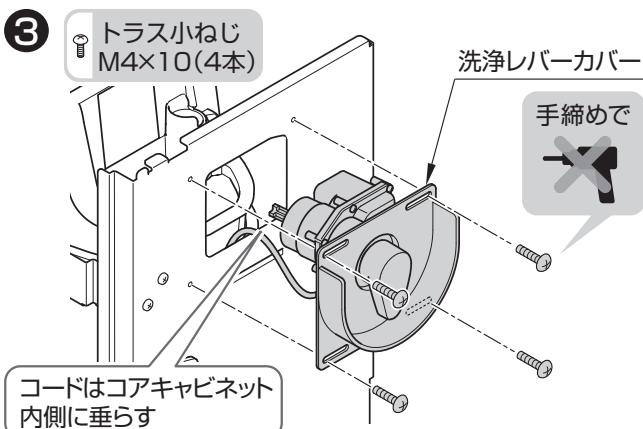
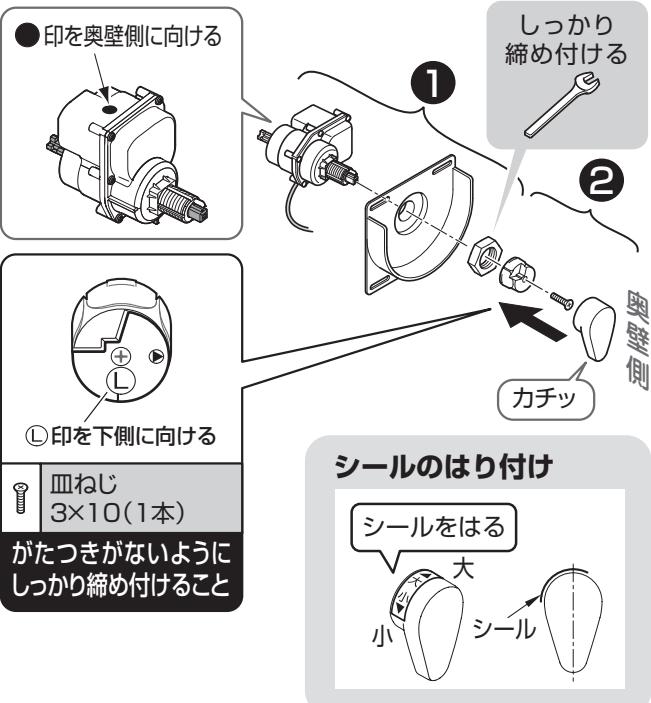
**ホースがたるまない  
ように固定する**

(後壁に固定)



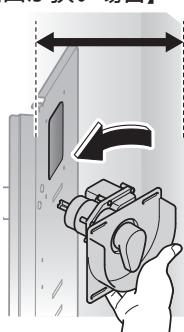
## 2 洗浄レバーの取り付け

※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。ワッシャーA、ワッシャーBは使用しません。



### ポイント

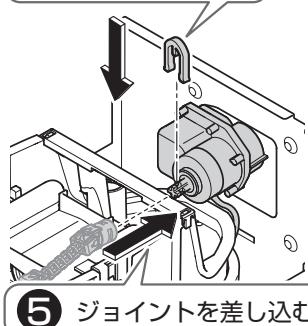
【間口が狭い場合】



斜めに  
差し込む

## 4 ジョイントからピンを取り外す

### 6 ピンを差し込む

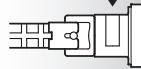


### 5 ジョイントを差し込む

### ポイント

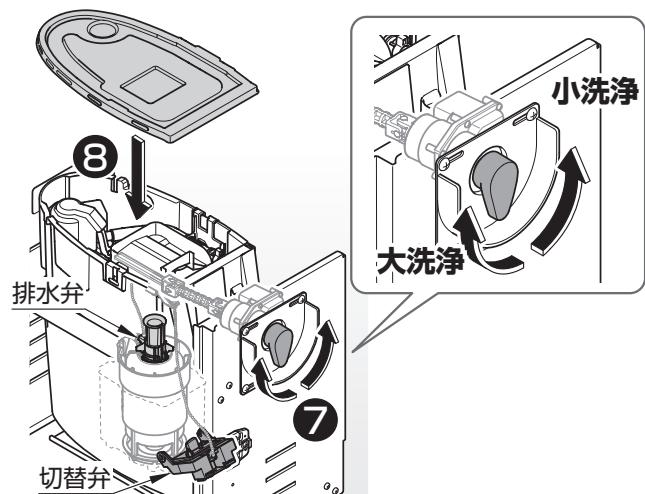
ジョイントが  
抜けないことを確認

ピン固定位置



### 7 作動確認

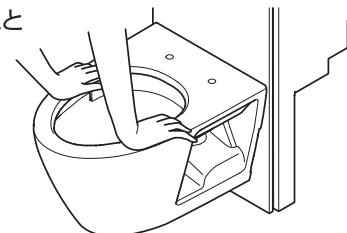
- レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- 洗浄後、レバーが正規の位置に戻すこと



### 9 ぐらつきおよび異音有無の確認

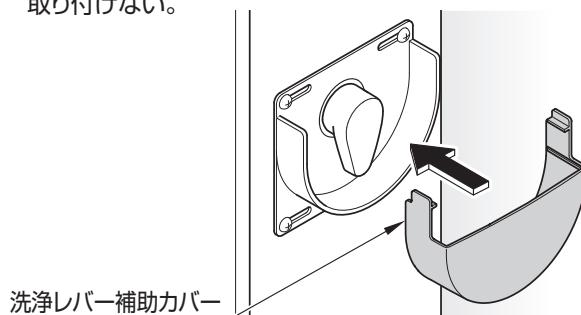
便器先端に両手で荷重をかけ

- 便器がぐらつかないこと
- 异音発生のないこと



### 10 洗浄レバー補助力バーを取り付ける

※右勝手の場合は洗浄レバー補助力バーは取り付けない。



## 9.ウォシュレット

**1** ウォシュレットの設置  
▶ウォシュレット施工説明書

**2** ホース・コードのはめ込み

▶P.46

**3** ホースの接続

▶P.46

**4** リモコンの設定・  
作動確認



▶P.47

### 1 ウォシュレットの設置

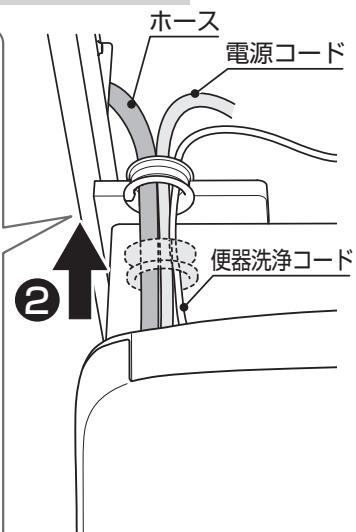
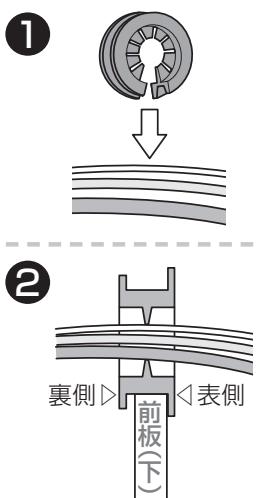
壁給水で壁排水（左抜き）の場合、既存給水流用（水抜方式）右側立ち上げの場合

給水ホースを交換する

別売品 ウォシュレット用給水ホース(TCA525)

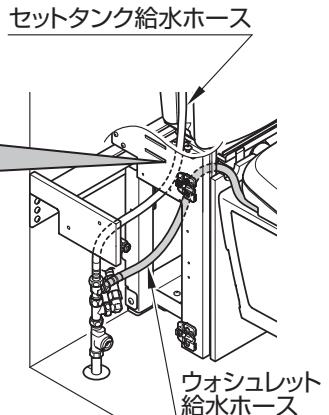
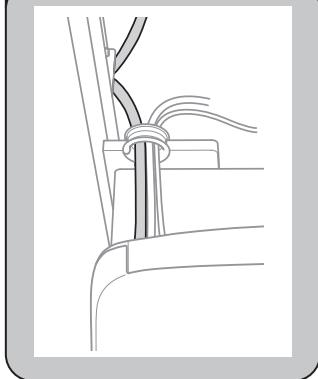
作業がしやすいようにウォシュレットを  
手前に引き出しておく。

### 2 ホース・コードのはめ込み



### 3 ホースの接続

#### ポイント



**3**

取り出す

プラグ接続口

キャップ

根元まで確実に差し込む

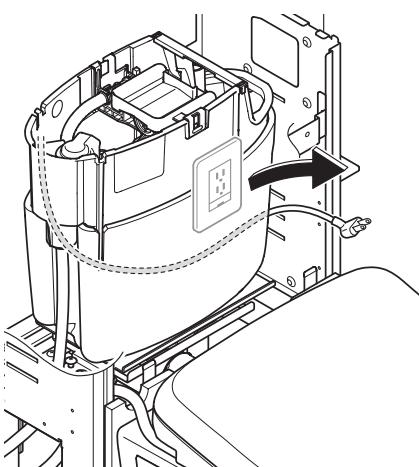
①

プラグ

キャップ

#### 電源コード取り回し

タンク用ヒーターの電源コードをコンセント側に取り回しておく



## 4 リモコンの設定・作動確認

### 1 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行なうか確認

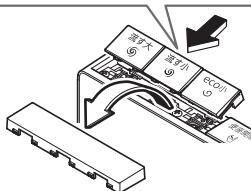
### 2 流すボタンの取り付け

▶流すボタン取付説明書

流すボタン  
(ウォシュレット専用便器洗浄ユニットに同梱)

#### 注意

リモコンには流すボタンが  
取り付いていません。  
必ず取り付けてください。



### 3 ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

#### 注意

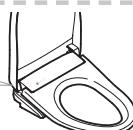
モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。  
※ウォシュレット本体の電源が入っていないと設定を受け付けません。

### 4 ビデ/ワイド 水勢 と - を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



### 5 おしり/ソフト 水勢 水勢 → - → + の順に押す ピッ



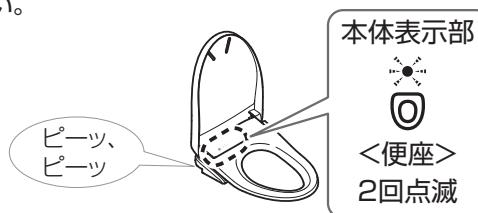
### 6 ビデ/ワイド 水勢 と + を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。



### 7 おしり/ソフト 水勢 おしり/ソフト → - → おしり/ソフト の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する  
電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。  
手順③に戻り設定しなおしてください。



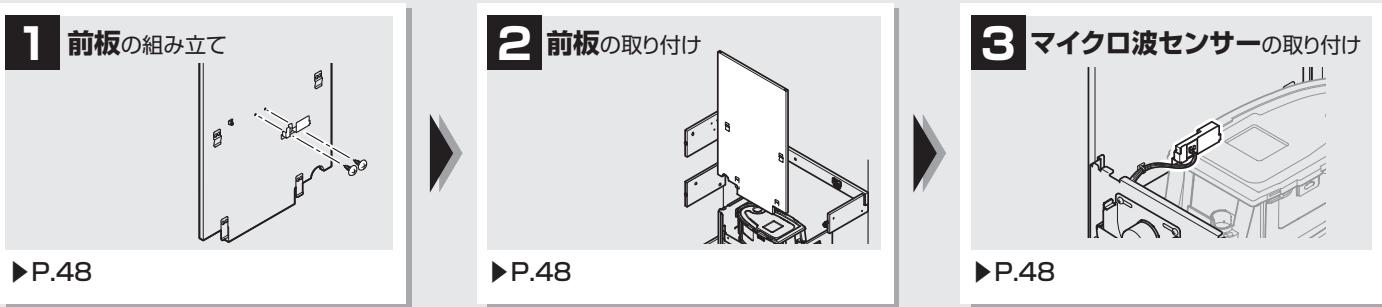
### 8 作動確認

※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



■正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください。

# 10.前板(上)



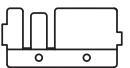
## 1 前板の組み立て

ト拉斯タッピングねじ  
3.5×10(2本)

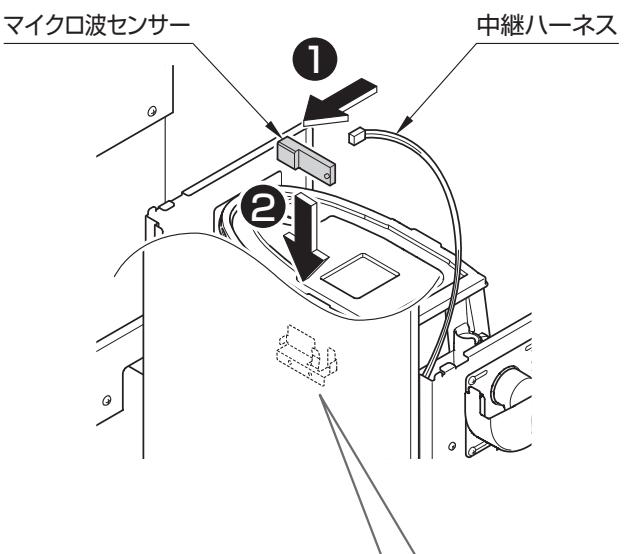


マイクロ波センサー取付金具  
※照明部材セットに同梱されています。

注 意  
上下の向きを確認



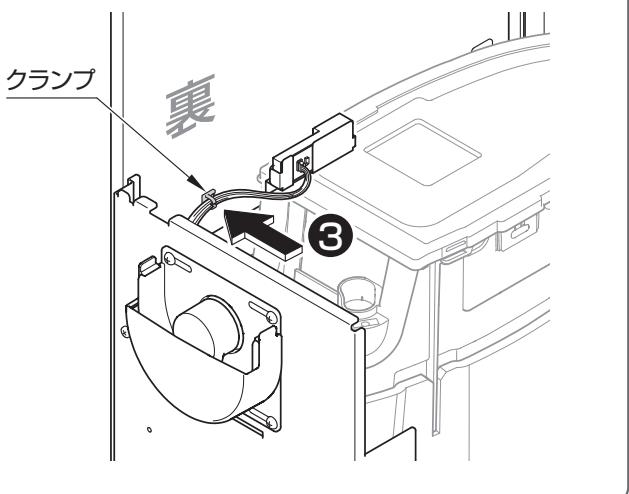
## 3 マイクロ波センサーの取り付け



## 2 前板の取り付け

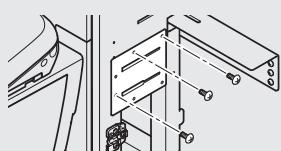
注 意

コード類を  
挟み込まないこと



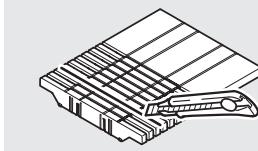
# 11. 棚板・タンク上収納底板用アングル材(まるごと収納タイプ)

## 1 化粧パネルの取り付け



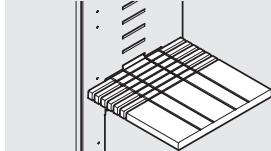
▶ P.49

## 2 棚板のカット



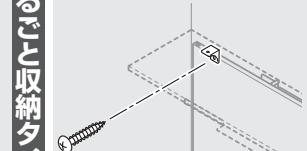
▶ P.49

## 3 棚板の取り付け



▶ P.50

## 4 アングル材の取り付け

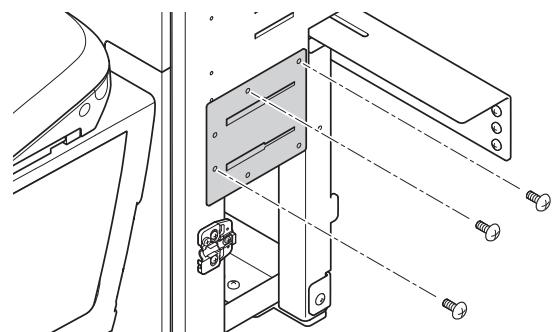


▶ P.50

## 1 化粧パネルの取り付け

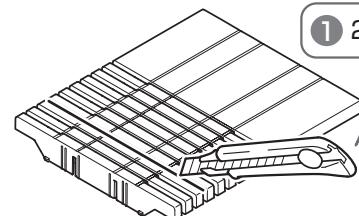
\*カウンターが取り付く反対側に  
取り付けてください。

ト拉斯小ねじ  
M4×10(3本)



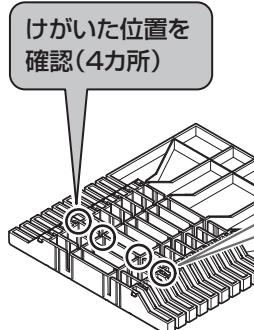
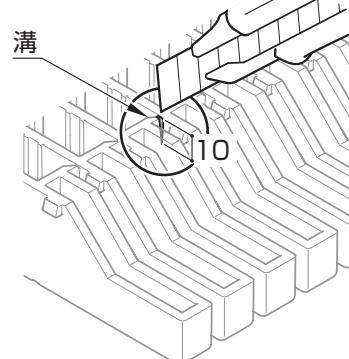
## 2 棚板のカット

【上面】



① 2回程度なぞる

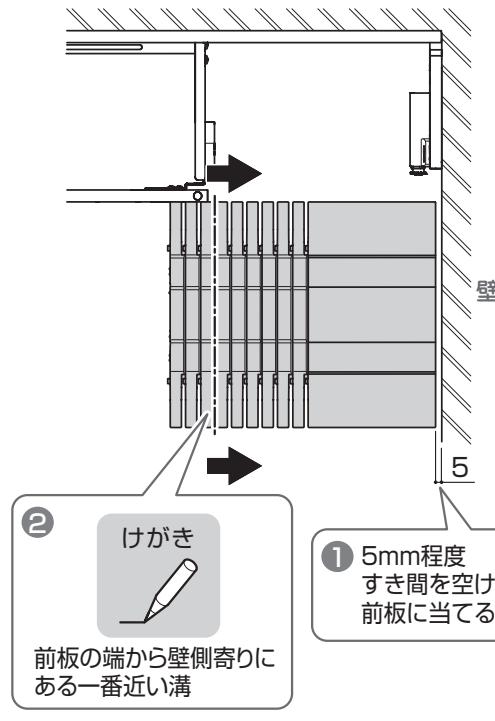
【裏面】

けがいた位置を  
確認(4カ所)② リブの溝にあわせて切り込みを入れる  
(4カ所)

## 2 棚板のカット

### 1 設置寸法の測定

【上図】

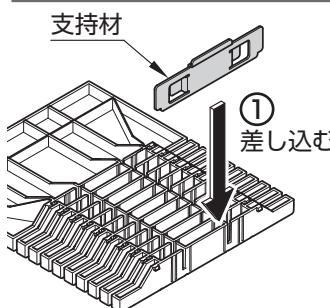


②

けがき

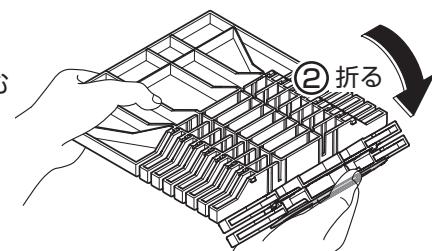
前板の端から壁側寄りに  
ある一番近い溝① 5mm程度  
すき間を空けて、  
前板に当てる

棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合



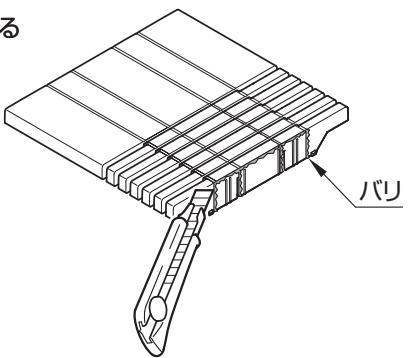
支持材

① 差し込む



② 折る

④ バリを取る



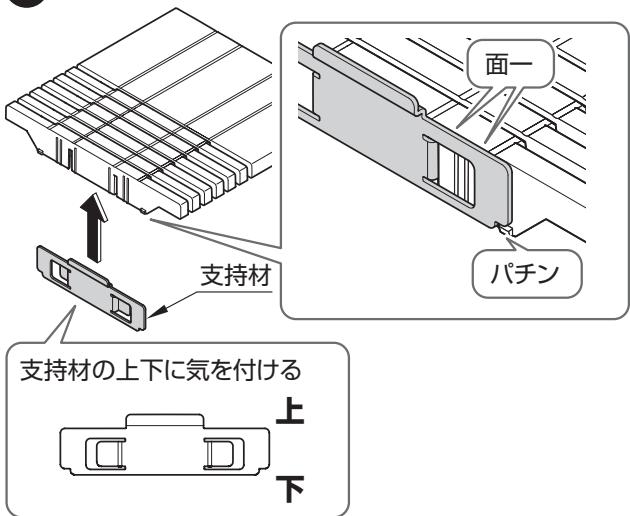
**注 意**

**棚板を切断したあとは必ずバリを取る**

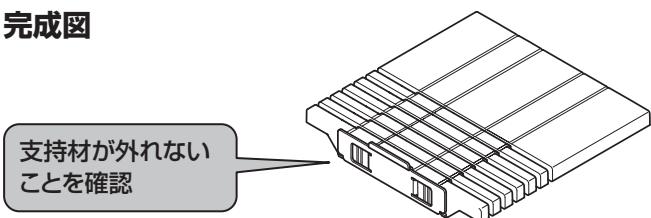
バリ取りが不十分な場合は、切断面でけがをするおそれがあります。

### 3 棚板の取り付け

① 支持材の取り付け

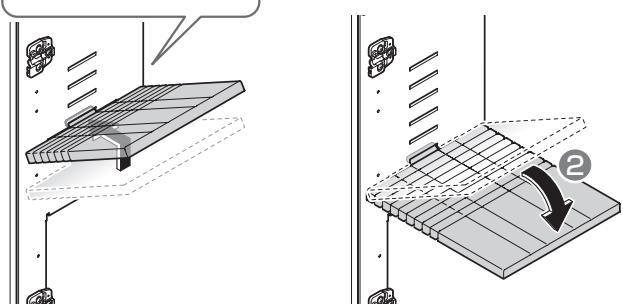


**完成図**



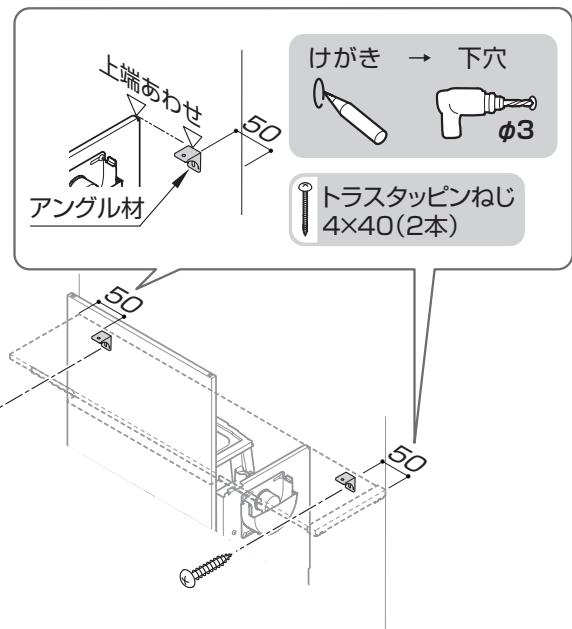
② 棚板の取り付け

① 溝に棚板の支持材を差し込む



**まるごと収納タイプ**

### 4 アングル材の取り付け



**MEMO**

# 12.扉

**2 扉の取り付け 調整については  
下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。  
[URL] [https://jp.toto.com/support/repair/solution\\_t/08\\_02.htm](https://jp.toto.com/support/repair/solution_t/08_02.htm)**

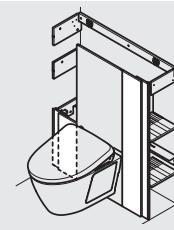


## 1 扉の組み立て



▶P.51

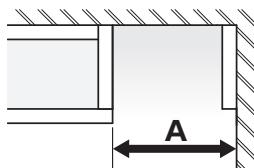
## 2 扉の取り付け



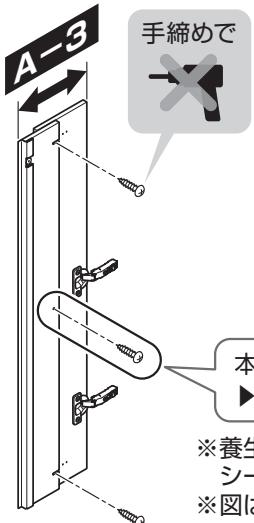
▶P.51

## 1 扉の組み立て

### 1 設置寸法の測定



### 2 扉の組み立て



手締めで

トラスタッピングねじ  
4×20(2本)

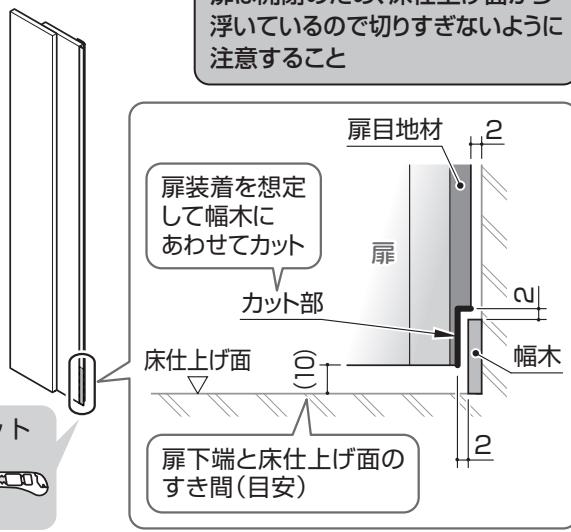
本固定用(ここでは使用しない)  
▶「21.仕上げ」

※養生シートがある場合は取付前に  
シートをはがす  
※図は右扉セットの場合

### 幅木がある場合

### 3 扉目地材のカット

扉は開閉のため、床仕上げ面から  
浮いているので切りすぎないように  
注意すること



扉装着を想定  
して幅木に  
あわせてカット

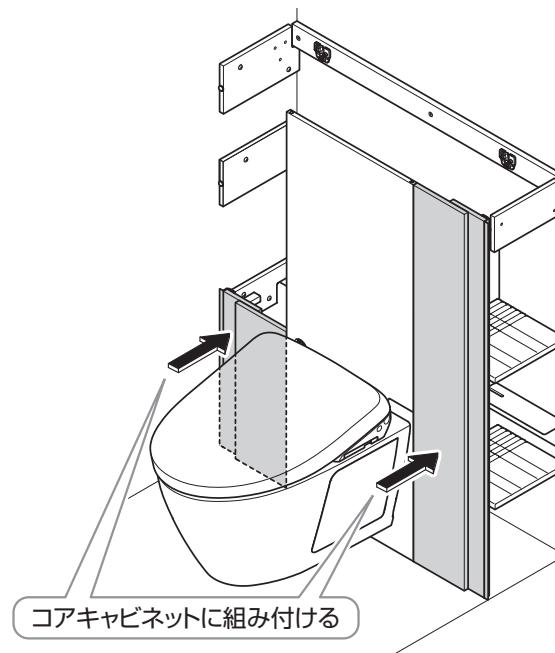
カット部

扉

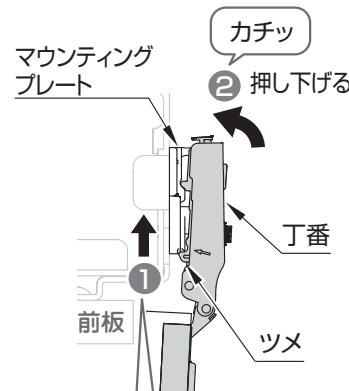
扉下端と床仕上げ面の  
すき間(目安)

## 2 扉の取り付け

### 1 扉をコアキャビネットの丁番に取り付け



### 取り付けかた



マウンティング  
プレート

カチッ

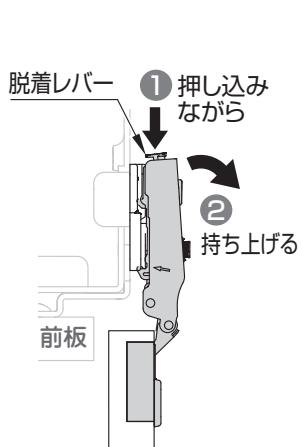
② 押し下げる

前板

ツメ

マウンティングプレート  
先端にツメを引っ掛ける

### 取り外しかた



脱着レバー

① 押し込み  
ながら

② 持ち上げる

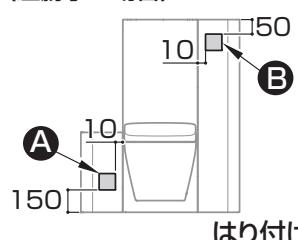
前板

丁番本体がきちんと  
マウンティングプレートに  
装着されているか確認する

## ② ラベルのはり付け

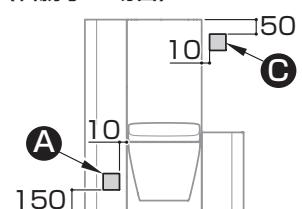
**A** 止水栓ラベル **B** 便器洗浄ラベル **C** 便器洗浄ラベル  
止水栓がある側にはる (GH04247) (GH04248)

〈左勝手の場合〉



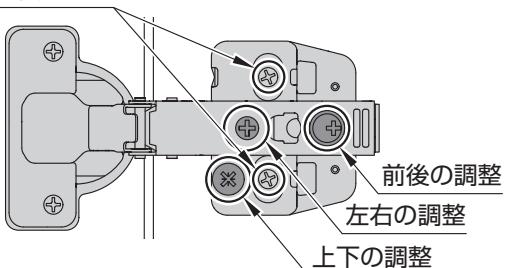
はり付け位置(参考)

〈右勝手の場合〉

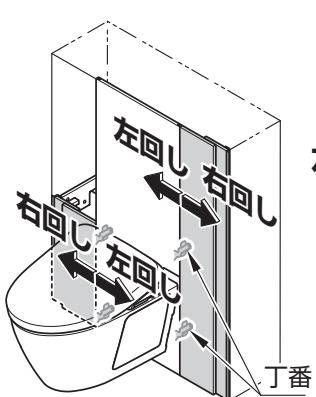


## 扉の調整

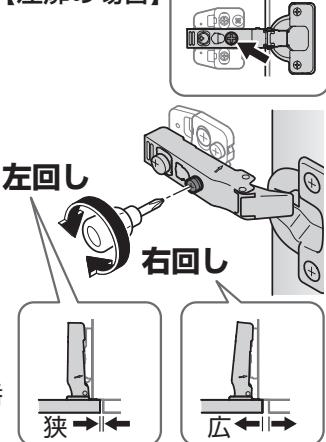
このねじは使わない



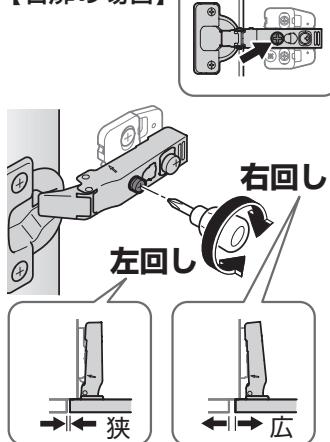
### 【左右】



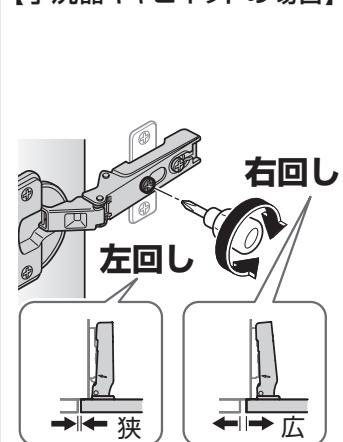
### 【左扉の場合】



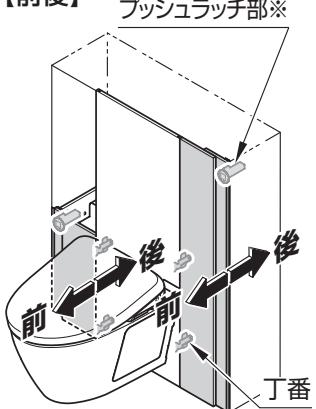
### 【右扉の場合】



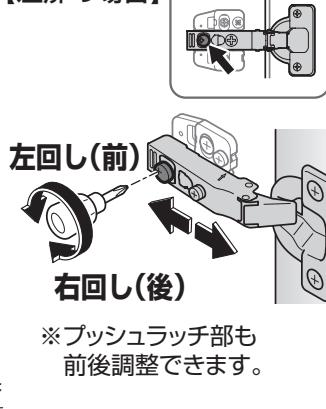
### 【手洗器キャビネットの場合】



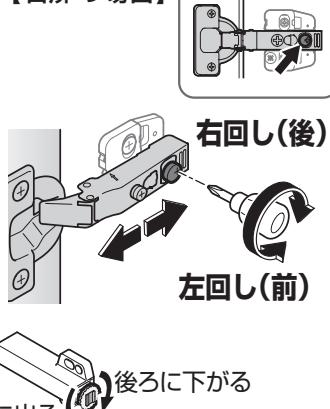
### 【前後】



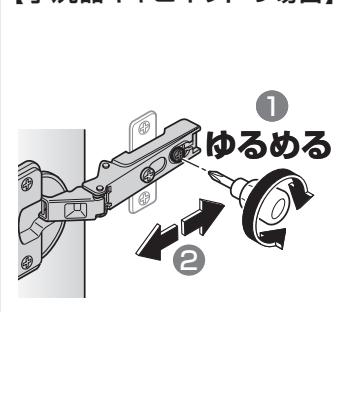
### 【左扉の場合】



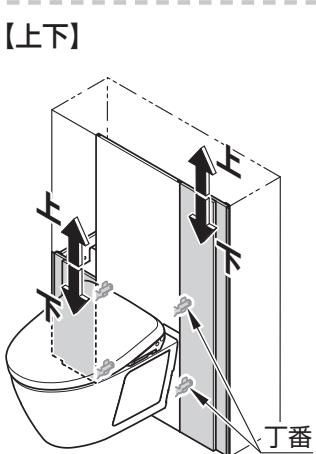
### 【右扉の場合】



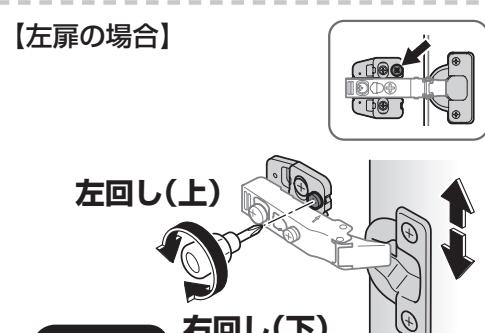
### 【手洗器キャビネットの場合】



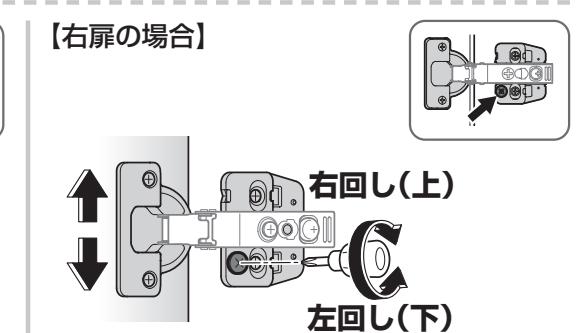
### 【上下】



### 【左扉の場合】



### 【右扉の場合】



## 【お引渡し前に】

扉の本固定と調整を必ず行ってください。▶ P.91

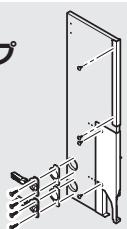
# 13. 固定扉・天板

## 1 固定扉のカット



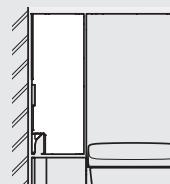
▶P.53

## 2 丁番・固定扉キャップの取り付け



▶P.53

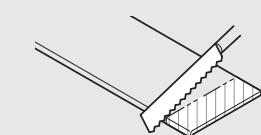
## 3 固定扉の取り付け



▶P.54

すっきり収納タイプ

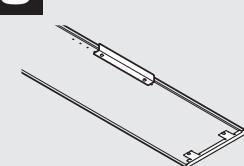
## 4 天板の加工



▶P.54

すっきり収納タイプ

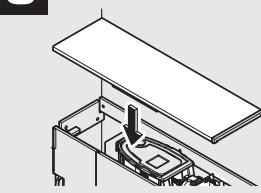
## 5 天板の組み立て



▶P.54

すっきり収納タイプ

## 6 天板の取り付け



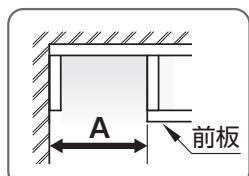
▶P.54

## 1 固定扉のカット

### 注意

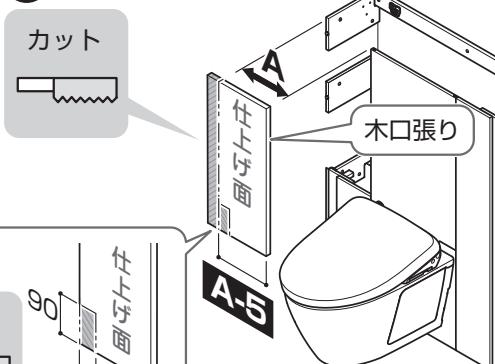
仕上げ面を上にしてカットすること

【左勝手】



①

カット



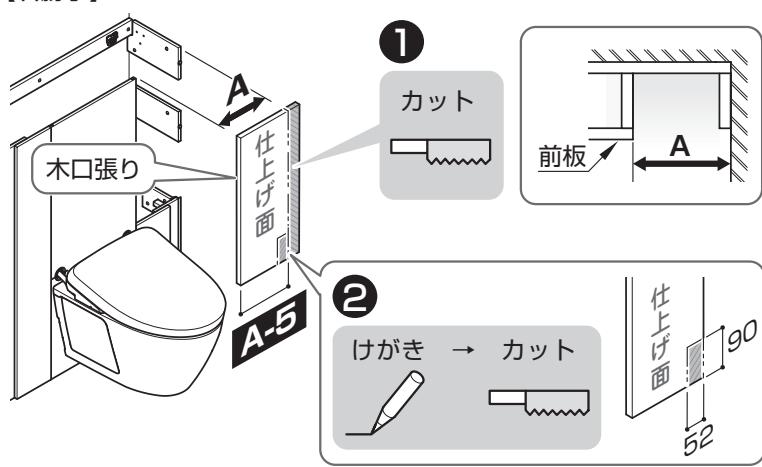
②

けがき → カット

A-5

90

【右勝手】



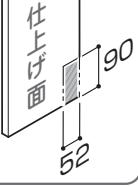
①

カット

A

②

けがき → カット



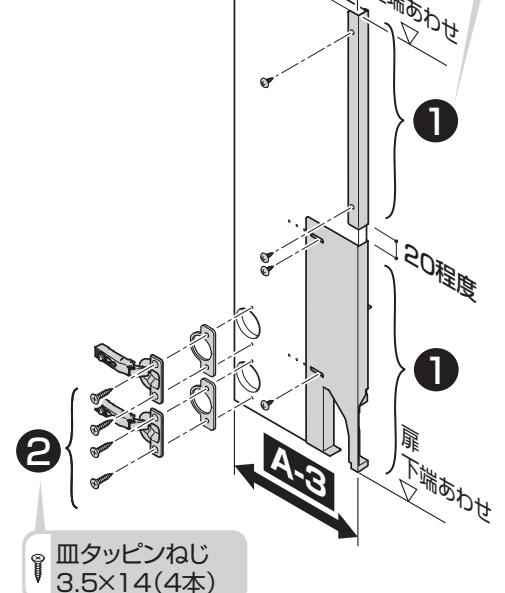
## 2 丁番・固定扉キャップの取り付け

まるごと収納タイプの場合

手締めで

トラスタッピンねじ  
4×10(4本)

※部材に養生シートがある場合ははがす

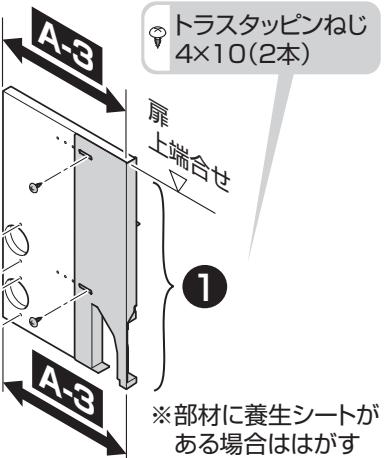


### 注意

天板開閉部材セットに同梱されている  
スライド丁番を使用しないこと  
形は同じでも開き角度が違います。

### すっきり収納タイプの場合

手締めで



トラスタッピングねじ  
4×10(2本)

皿タッピングねじ  
3.5×14(4本)

2

奥上端合せ

1

### ② 天板のカット

カット



カウンターと  
反対側

### ポイント

#### チッピングに注意!



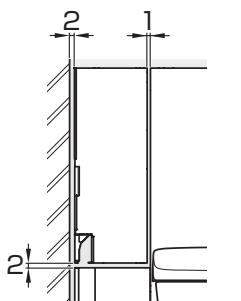
のこぎりの場合  
は表面からカット



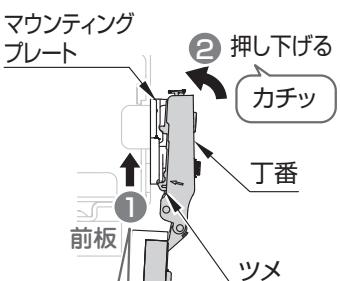
丸のこの場合は  
裏面からカット

## 3 固定扉の取り付け

### 仕上げ状態(目安)



### 取り付けかた



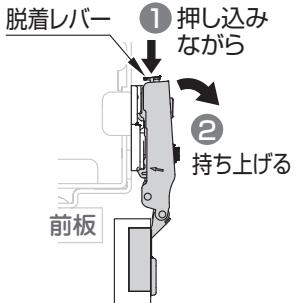
マウンティング  
プレート

2 押し下げる  
カチッ

1 当てる  
丁番  
前板  
ツメ

マウンティングプレート  
先端にツメを引っかける

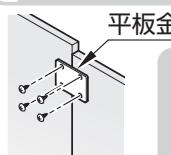
### 取り外しかた



1 押し込み  
ながら  
2 持ち上げる  
脱着レバー  
前板

### まるごと収納タイプ

トラスタッピングねじ  
4×10(4本)



平板金

手締めで

## すっきり収納タイプ

## 4 天板の加工

### ① W寸法測定

狭い方を  
基準にする



## 5 天板の組み立て

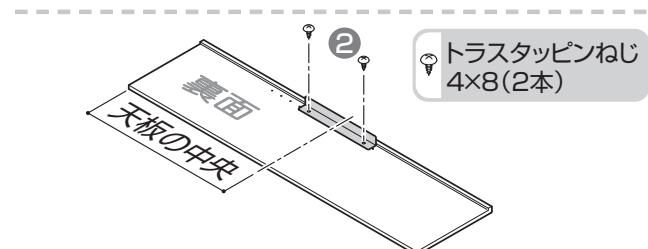
### ① 天板固定材の

#### 取り付け

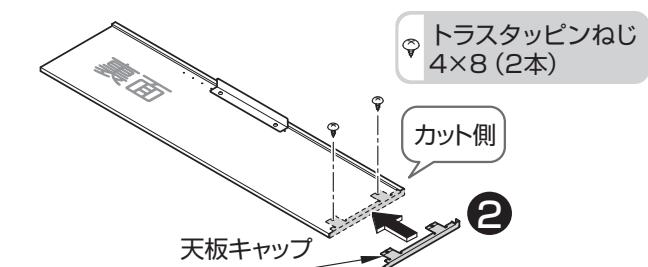


天板

1 当てる



2 4×8(2本)  
トラスタッピングねじ



2 4×8(2本)  
トラスタッピングねじ

カット側

天板キャップ

2

天板キャップ

## 手洗器 M サイズ

## 14-M. 手洗器キャビネット・カウンター

「手洗器Sサイズ」の場合  
P.67を参照してください。

## カウンターの水平について

ブラケットおよびカウンターが水平となるように、スペーサーなど(現場手配)で必ず調整してください。  
壁仕上げの状態(垂直、目地、鏡面など)によって、カウンターの見え方に影響が出ることがあります。



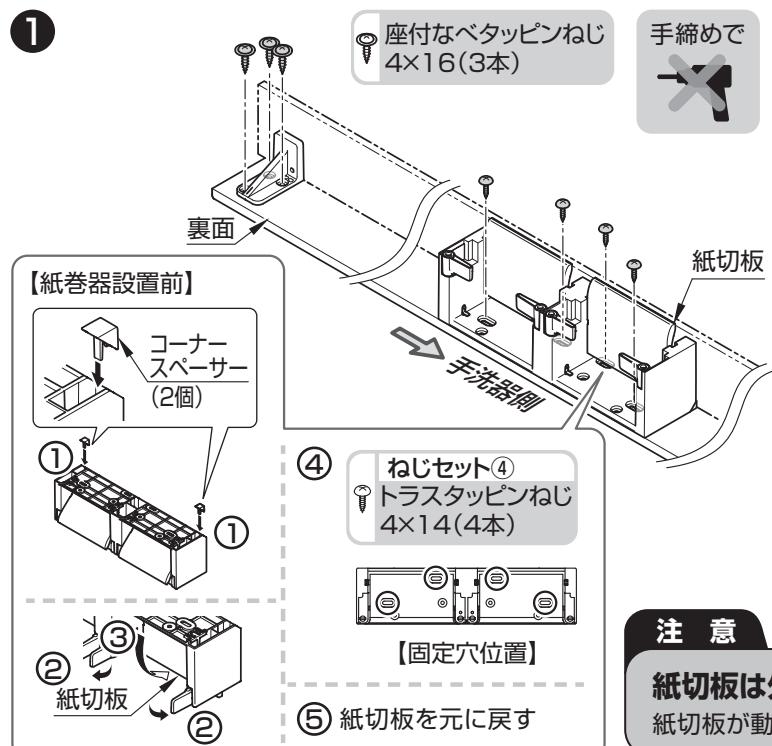
## 1 上段カウンターの部材の取り付け

## ポイント

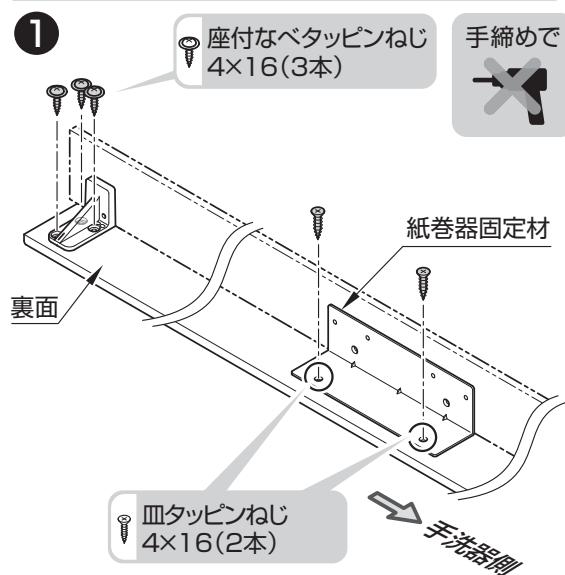
ブラケット類の裏面に  
上段補強さんをあてがい、  
固定する



樹脂製紙巻器の場合（紙巻器固定材はありません）



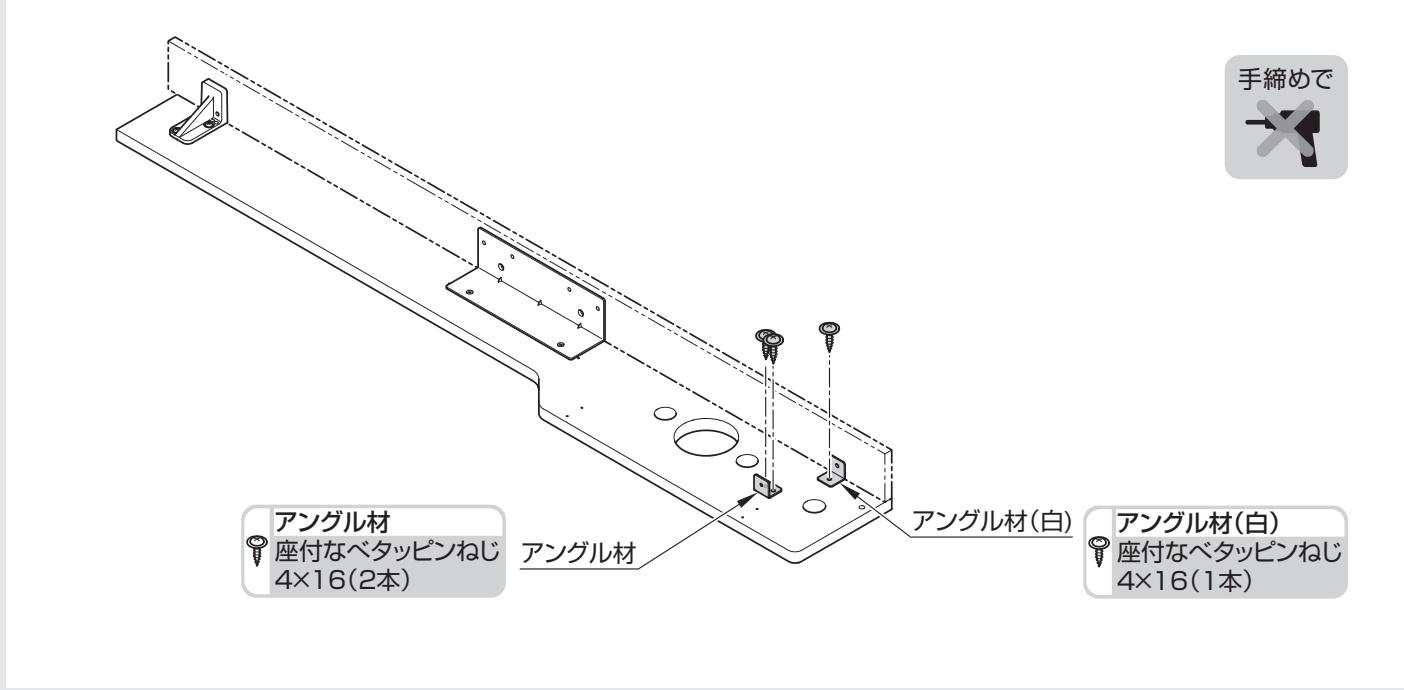
メタル製紙巻器の場合



## 注意

紙切板は外さない

紙切板が動作不良を起こすことがあります。



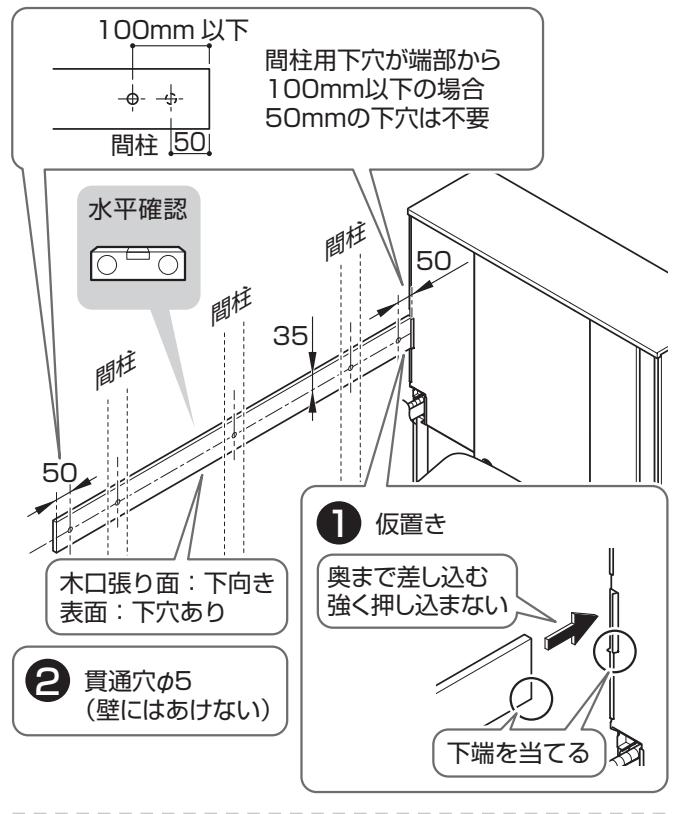
## MEMO

14

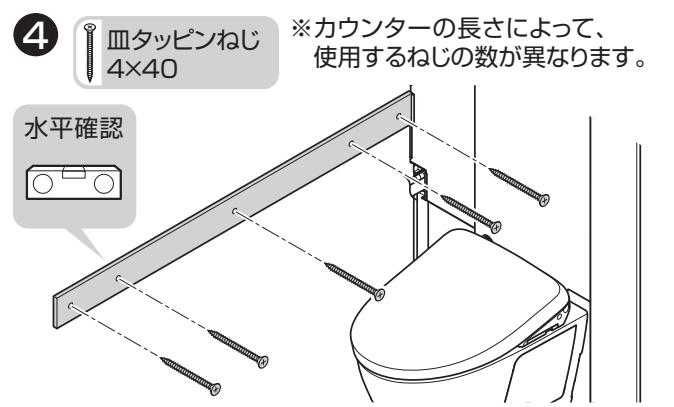
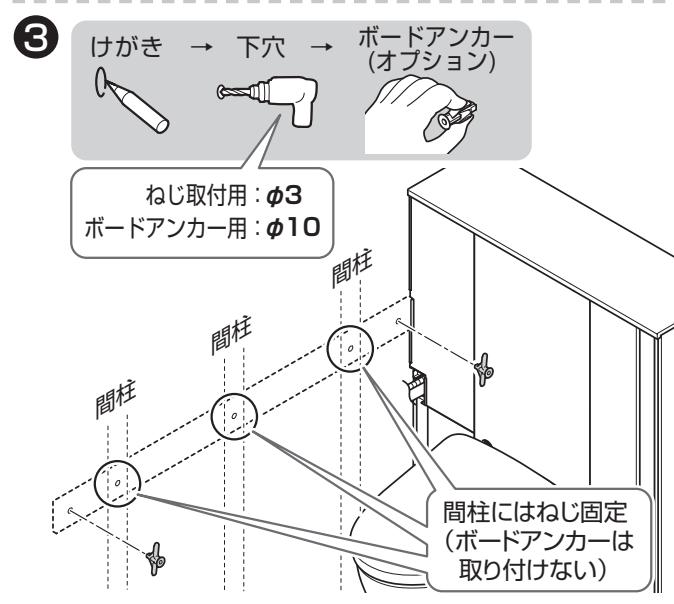
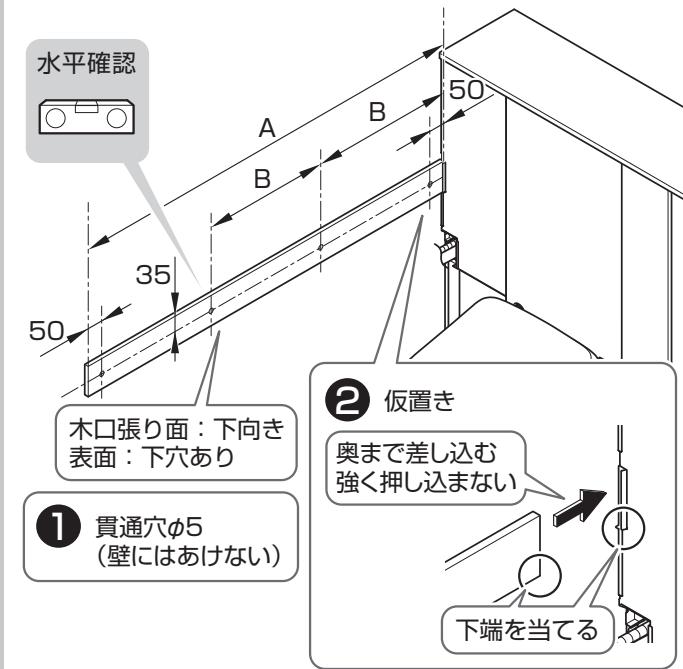
手洗器キャビネット・カウンター

## 2 上段補強さんの取り付け

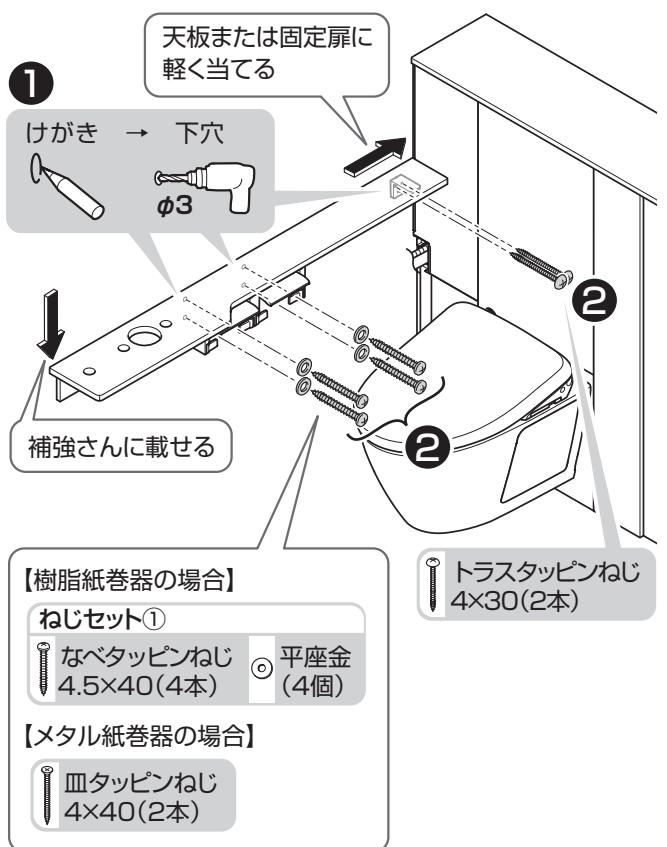
## 壁裏補強なしの場合



キャビネット奥行	A寸法	B寸法
256	1217	405
320	1253	415



### 3 上段カウンターの取り付け

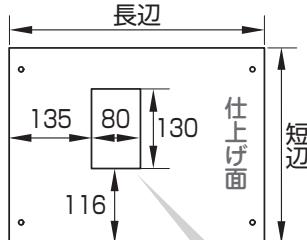


### 電気温水器付自動水栓の場合

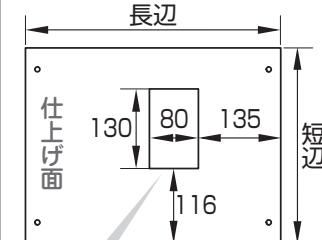
### 4 手洗器キャビネットの加工

背板にコンセント用の穴を加工

【左勝手】



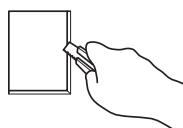
【右勝手】



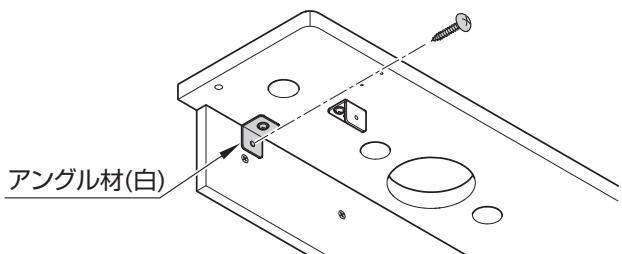
カット  
背板に開口

#### ポイント

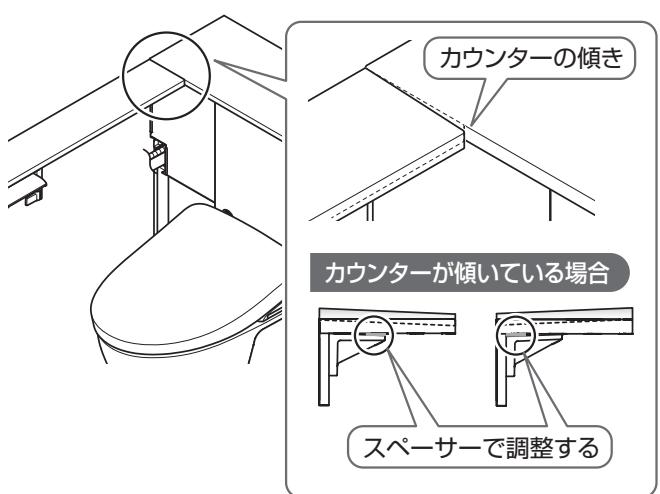
小型のノコギリを使用すると  
簡単にあけられます。



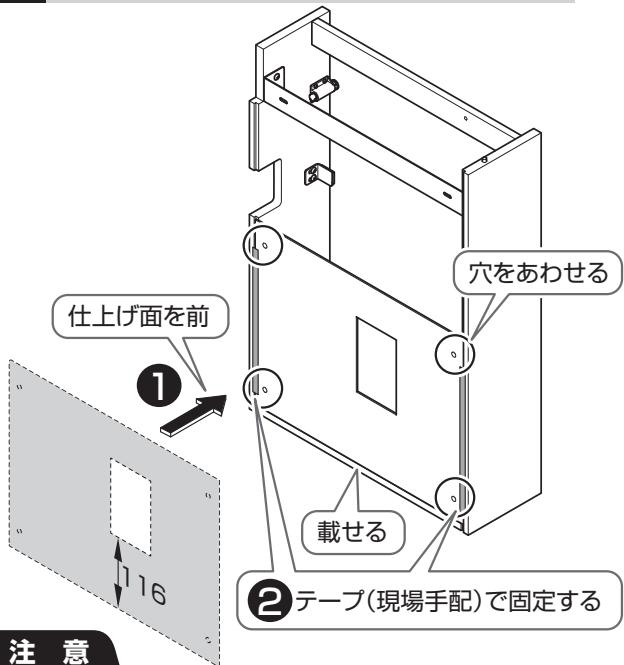
### 3 手洗器キャビネットの取り付け



#### 天板とカウンターがフラットつながりの場合

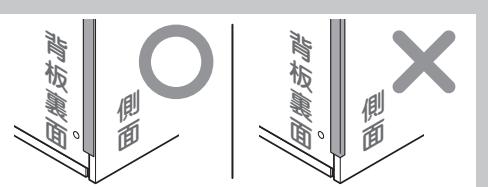


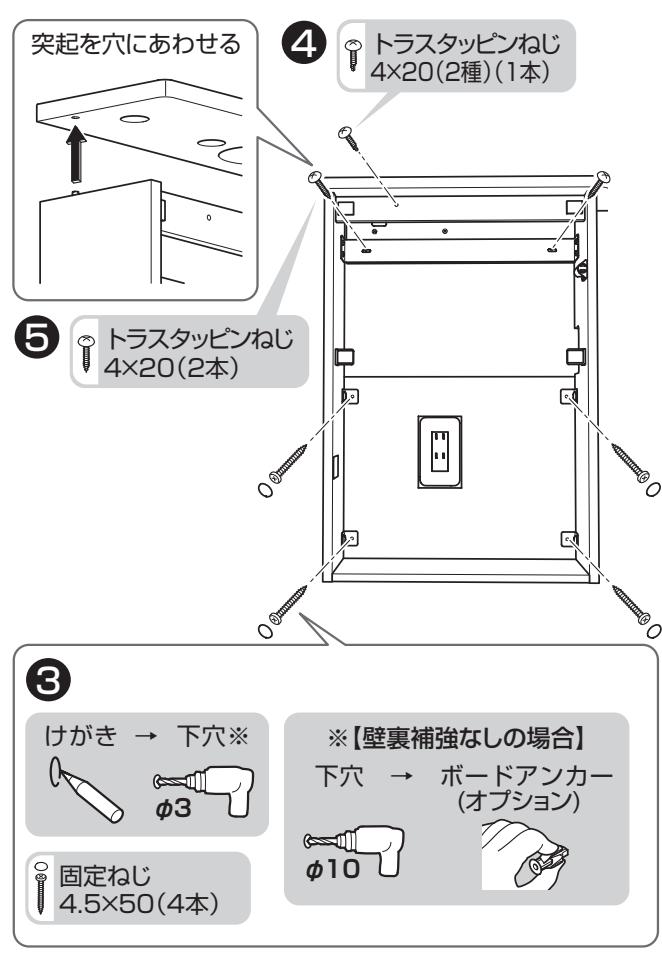
### 5 手洗器キャビネットの取り付け



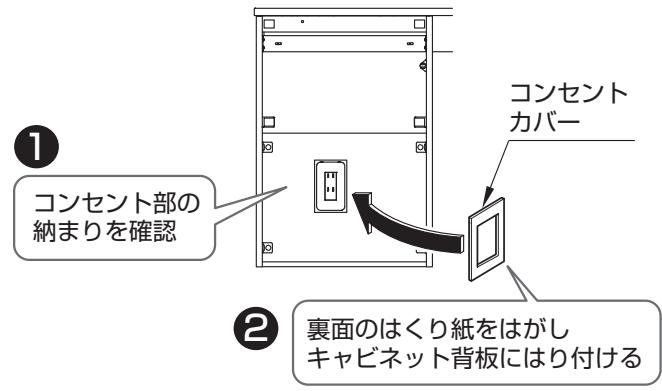
#### 注意

側面にテープがかからないようにする

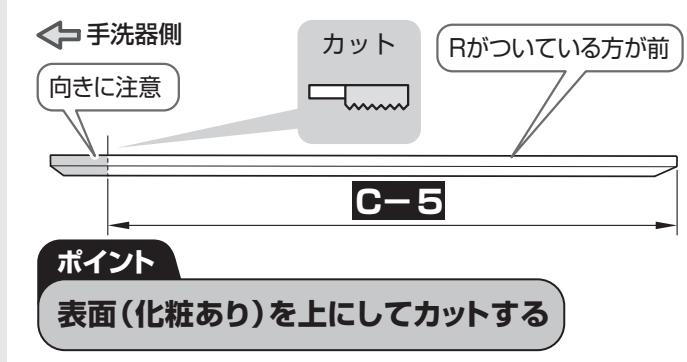
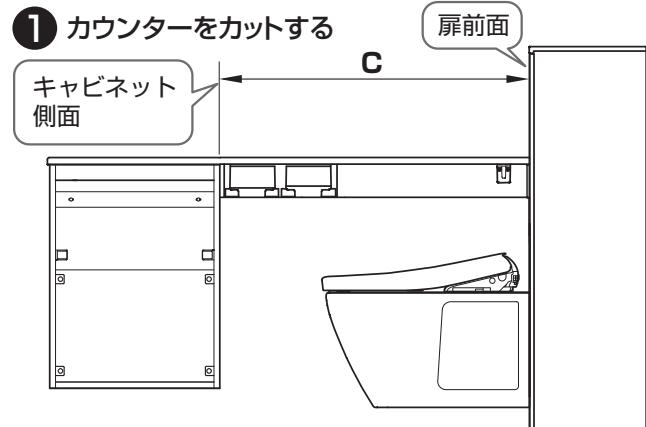




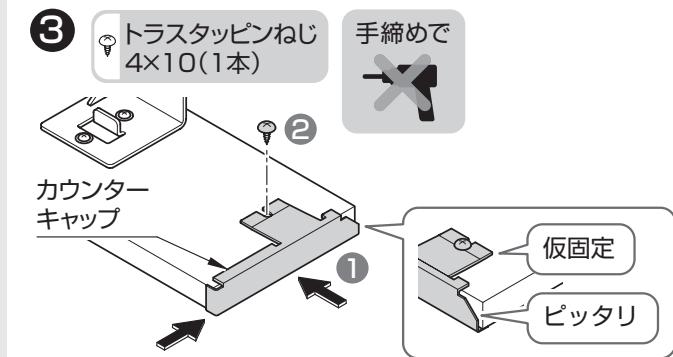
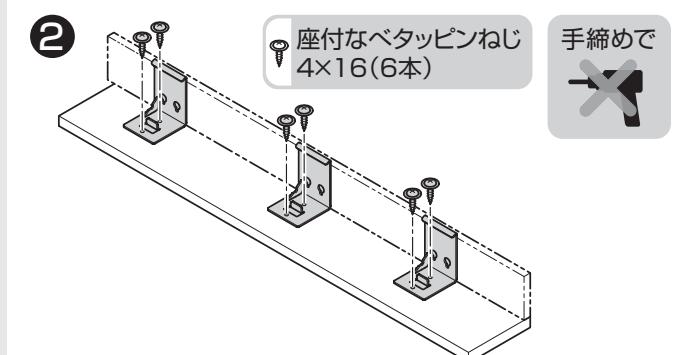
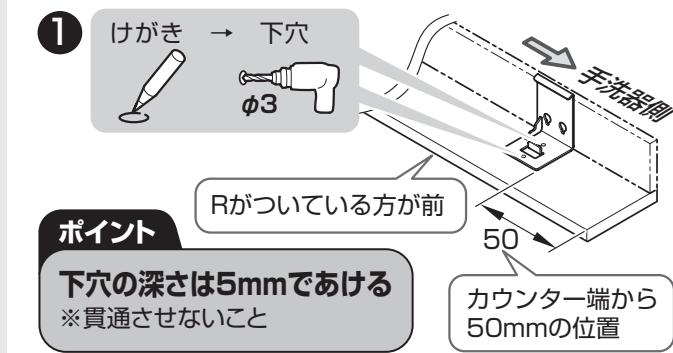
## コンセントがある場合



## 6 下段カウンターのカット



## 7 下段カウンターの部材の取り付け



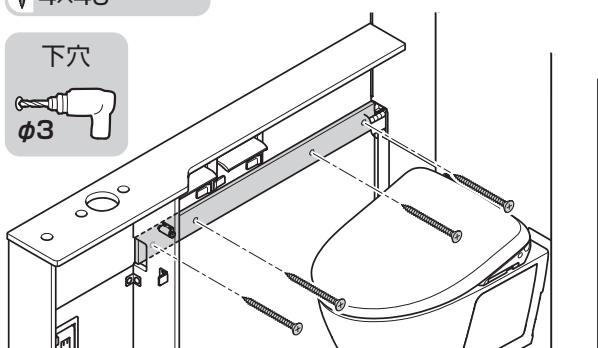


## 壁裏補強なしの場合

④

皿タッピンねじ  
4×40

※カウンターの長さによって、使用するねじの数が異なります。



MEMO

9

## 下段カウンターの取り付け

①

トラスタッピンねじ  
4×20(6本)

固定扉にかるく当てる

補強さんに載せる

けがき → 下穴

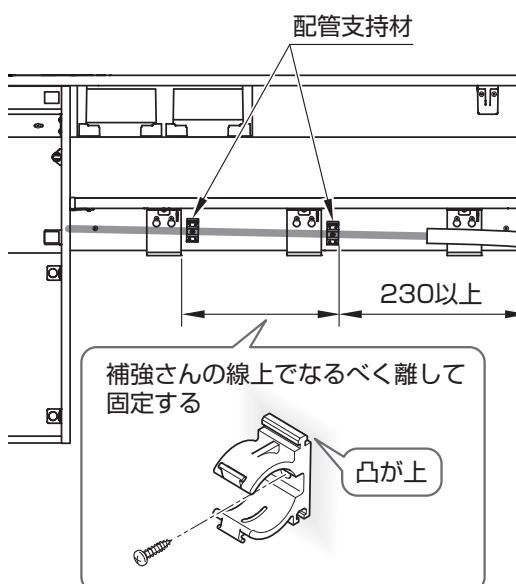
φ3

②

キャップを手洗器  
キャビネットに当てる

**ポイント**  
ドライバーにて  
手締めする

③

なべタッピンねじ  
4×16(2本)


## 手洗器 M サイズ

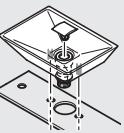
# 15-M. 手洗器

### 1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け



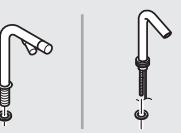
▶P.62

### 2 手洗器の取り付け



▶P.62

### 3 水栓金具の取り付け



▶P.63

### 4 取付穴の下穴あけ



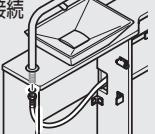
▶P.63

### 5 配管固定材の固定



▶P.63

### 6 フレキホース(手洗器用)の接続



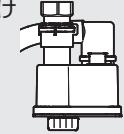
▶P.63

### 7 手洗器排水ホースのカット



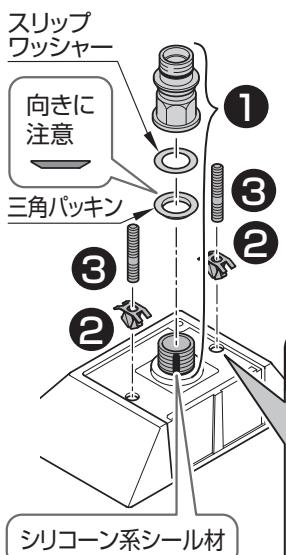
▶P.65

### 8 排水トラップの取り付け



▶P.66

## 1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け



### ポイント

陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む

取付ボルトが途中までしか入らず、手洗器が固定できません。



### 注意

#### 接続管を締め過ぎない

排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。  
(接続管を手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)



#### 排水金具に工具などを差し込んで(固定し)、締め付けない

排水金具内の十字部の破損の原因となります。



#### 排水金具ねじ部には、必ずシリコーン系シール材を塗布する

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

## 2 手洗器の取り付け

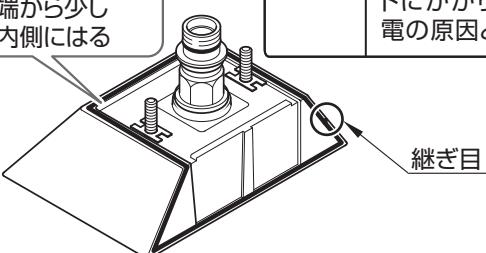
### 警告

#### 1 クッション材の取り付け

はみ出さぬよう端から少し内側には



クッション材のはり付けは確実に行う  
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。



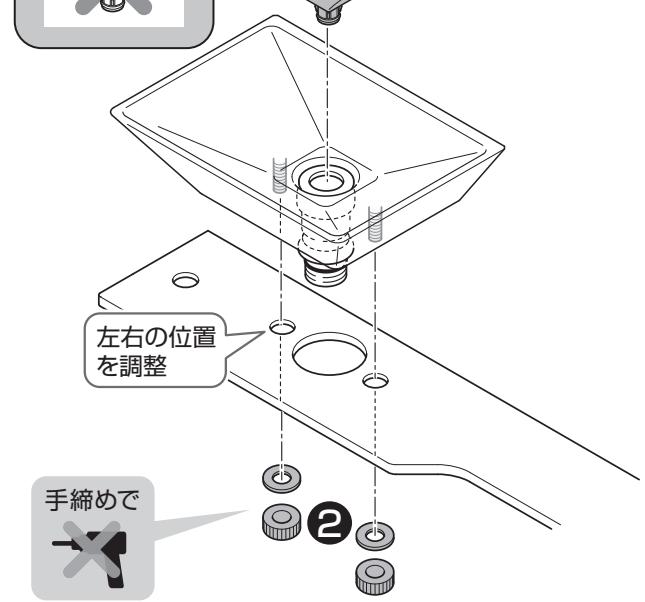
### ポイント

#### 向きに注意



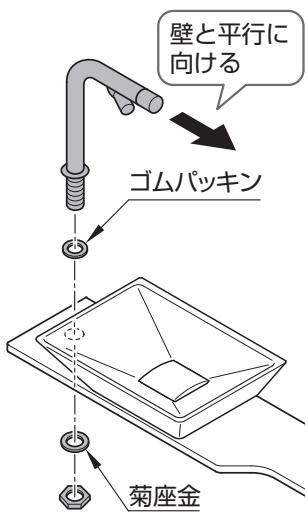
### ポイント

#### 手洗器を壁に押し当てる

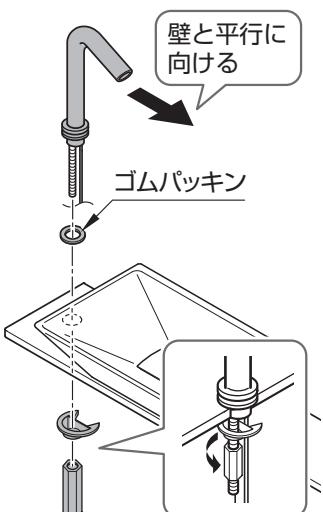


### 3 水栓金具の取り付け

#### ハンドル式水栓



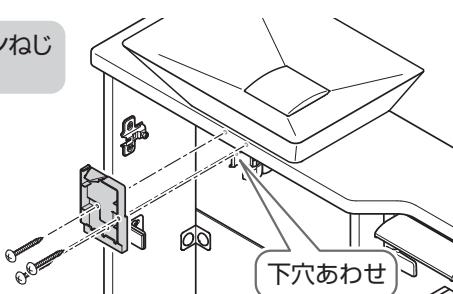
#### 自動水栓



#### 自動水栓・電気温水器付自動水栓

##### 1 コントローラー固定材の取り付け

トラスタッピンねじ  
4×30(3本)

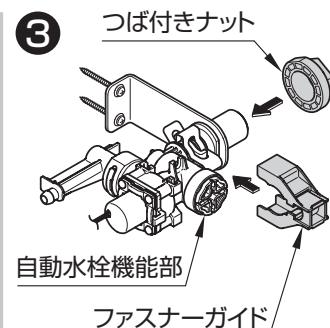


##### 2

座付タッピンねじ  
4.5×38(2本)

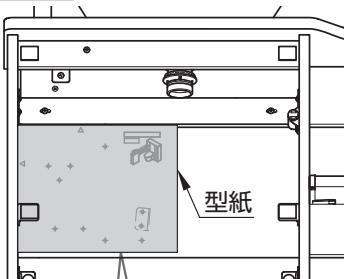


##### 3



### 4 取付穴の下穴あけ

けがき → 下穴※  
 φ3



\*【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー  
(オプション)  
 φ10

【けがき位置】  
ハンドル式水栓:1力所  
自動水栓:6力所  
電気温水器付自動水栓:  
10力所

適切な長さに  
ホースをカット



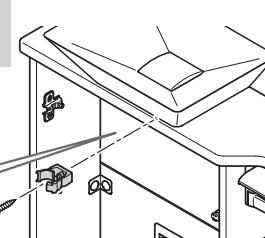
##### 5 スパウト連結ホースの接続

\*電気温水器を設置する場合▶次ページ参照

### 5 配管固定材の固定

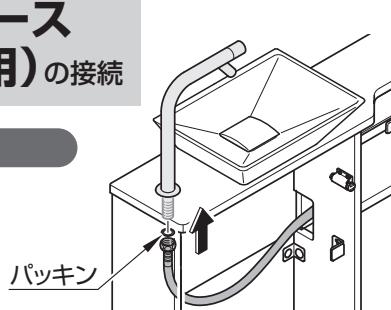
皿タッピンねじ  
4×40(1本)

配管固定材を固定する



### 6 フレキホース (手洗器用)の接続

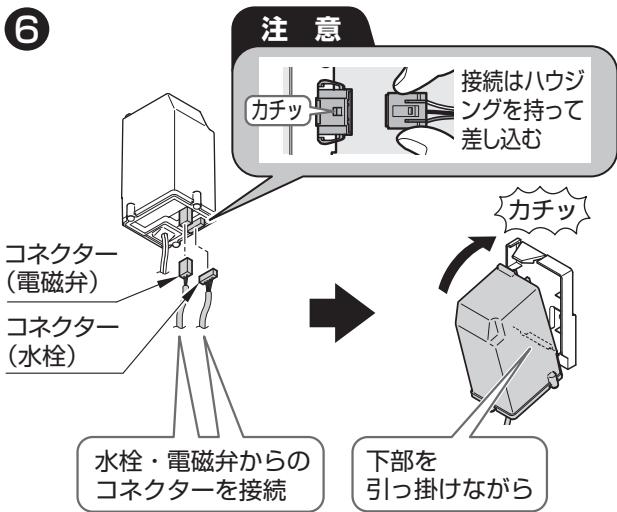
#### ハンドル式水栓



## 注意

<p>必ず守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする</li> <li>・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホースクランプは所定の位置にくるようにする</li> <li>・必ずホースクランプでスパウト連結ホース、排水ホースを固定する</li> </ul> <p>ホースクランプがホース継手の上面に付くこと</p>

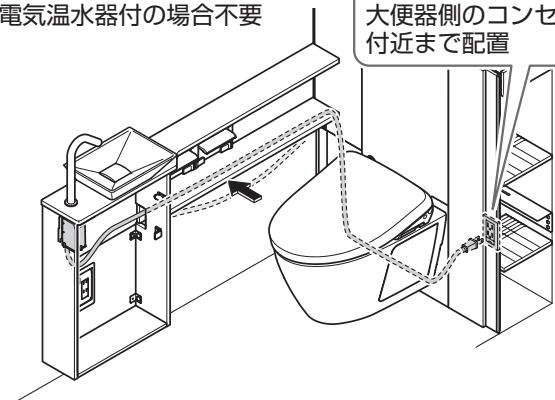
6



7 電源コード配置

※電気温水器付の場合不要

自動水栓のプラグを  
大便器側のコンセント  
付近まで配置



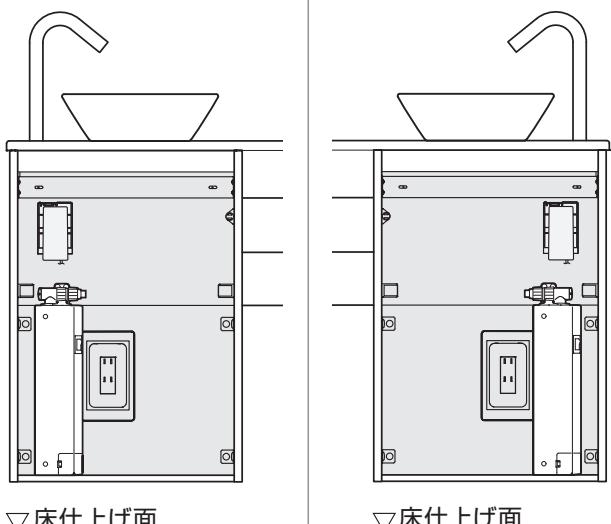
### 電気温水器付自動水栓

▶電気温水器施工説明書

#### 電気温水器取付位置

【左勝手】

【右勝手】



2

スペーサー  
取付用ねじ  
M4×5(2本)

固定アングル用  
座付なべ小ねじ  
M4×10(2本)

化粧ラベル  
(裏面接着剤付)

4

1

3

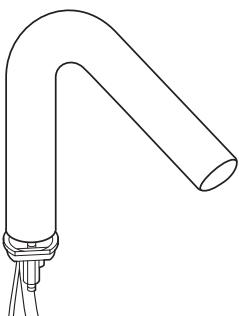
2

1

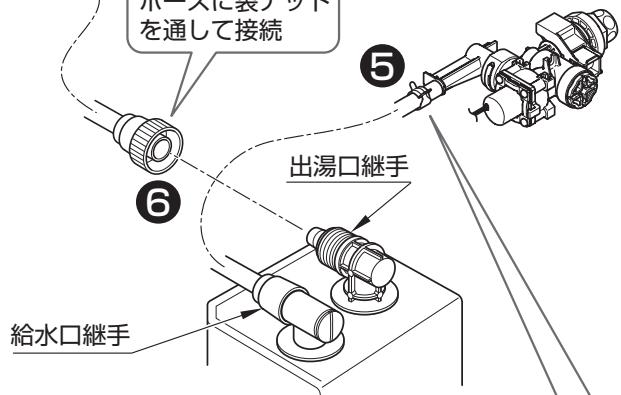
16.5

固定アングルを  
取り付け穴をふさぐ

壁固定用木ねじ  
4×30(2本)



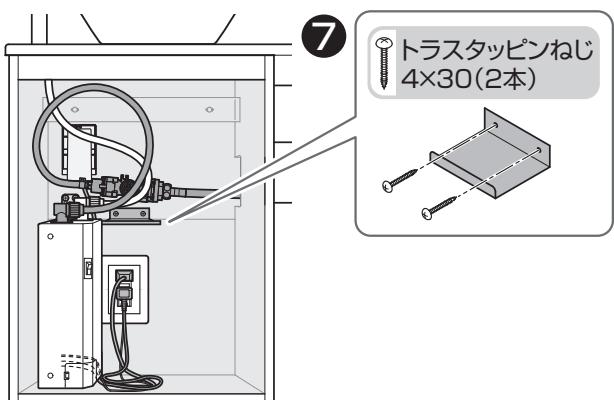
ホースに袋ナット  
を通して接続



### !! 注意



- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



△床仕上げ面

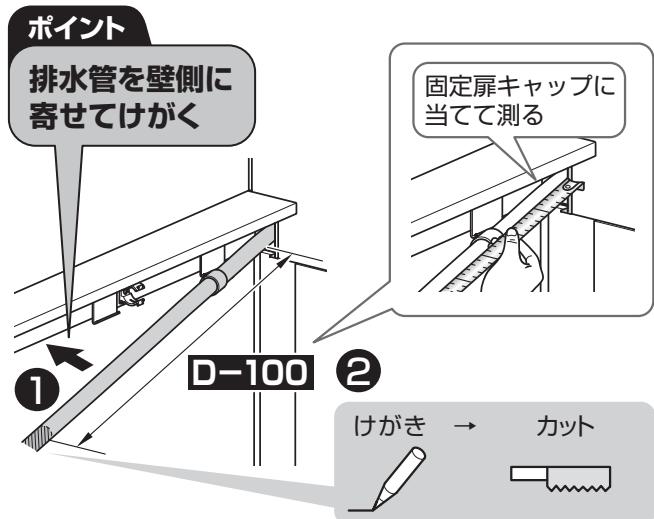
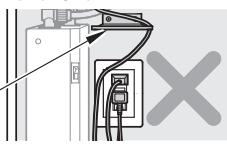
## ⚠ 警告



電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まないコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない  
結露水がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。

コンセント  
プレートカバー



## ⚠ 注意



ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない  
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



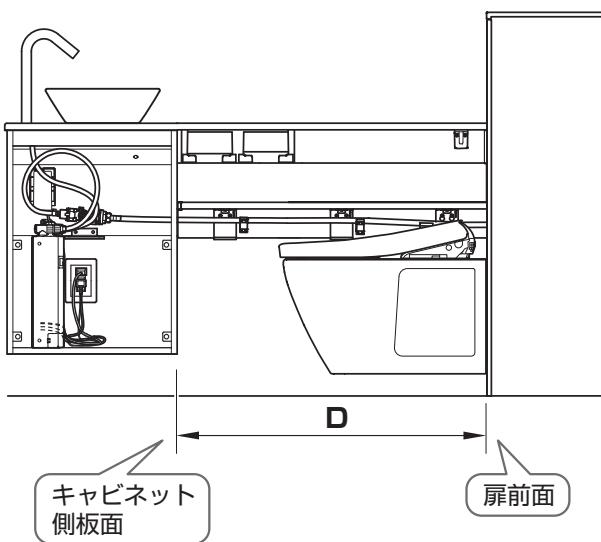
カット面は滑らかに仕上げる  
お客様の手が触れ、けがをするおそれがあります。

### ポイント

手洗器排水ホースは垂直にカットする



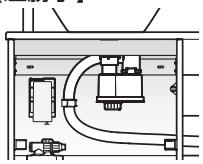
## MEMO



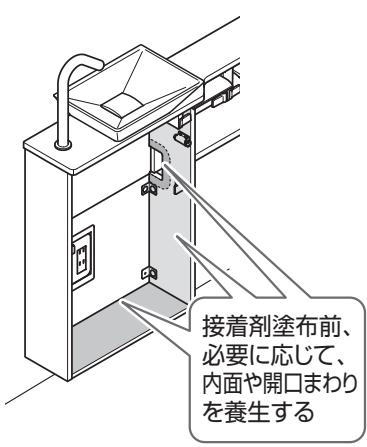
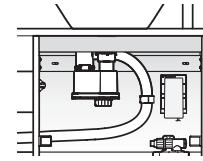
## 8 排水トラップの取り付け

### 取付状態

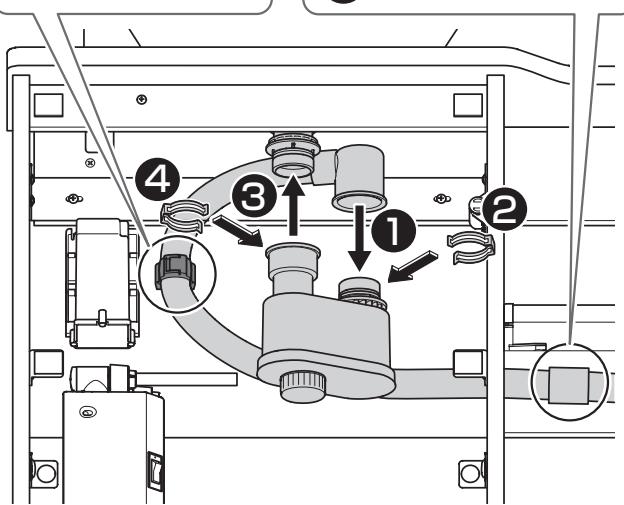
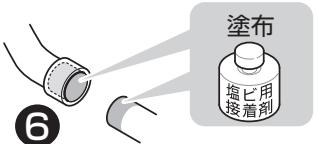
【左勝手】



【右勝手】



- ⑤ 配管固定材に  
トラップ排水管を通す  
※固定はしない

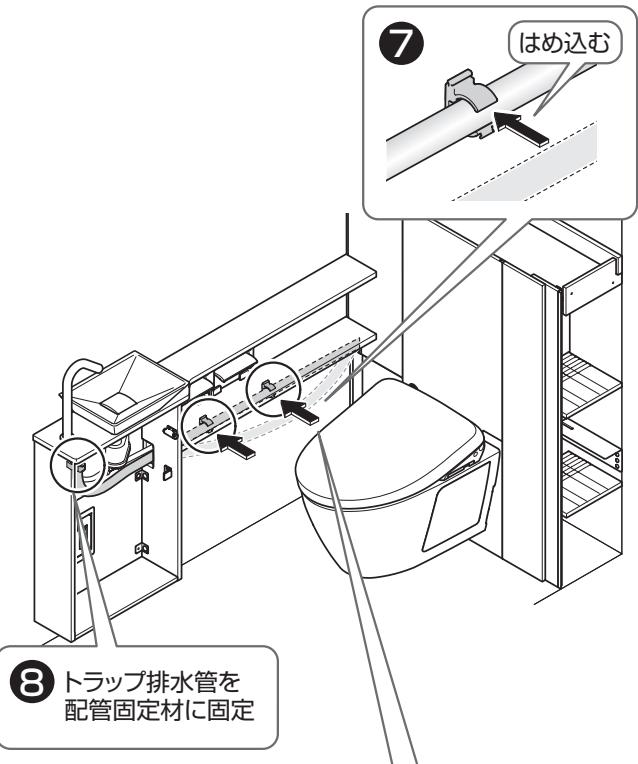


① ③

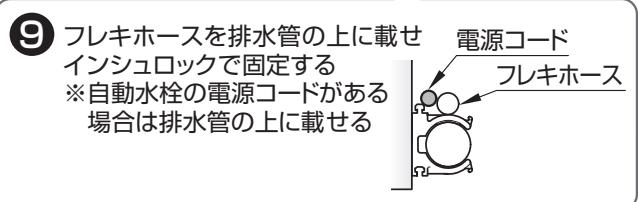
### 注意



斜めに差し込まない  
水漏れして家財などを  
ぬらす財産損害発生の  
原因となります。



- ⑧ トラップ排水管を  
配管固定材に固定

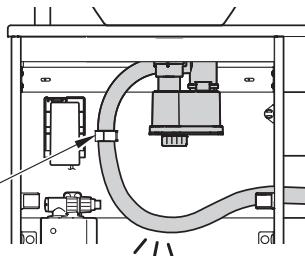


### 逆勾配注意

トラップ排水管がたるまないように固定する  
手洗器から異音発生のおそれがあります。



配管固定材



## MEMO

### 注意



必ず守る  
クイックファスナーが正しく固定されて  
いることを確認する  
全周にツバがかかっていることを確認する  
水漏れして家財などを  
ぬらす財産損害発生の  
原因となります。

